荒木飛呂彦

過去5年の間で思い出すと我が仕事場では4件の建築関係のトラブルがあり、こっちが素人だと思ってるのか『言い訳のテクニック』が全部すでに用意済みみたいなのだ。
わたしは職人さんを尊敬しており、それは誇り高い仕事をするところにあるんだけれども、家に来た人と会社は他のところでもやってんだよね、きっと。こういう『心』が社会を悪くするのかもしれない（もちろん、この件は証拠をそろえて賠償させた。）

●週刊少年ジャンプ・H8年49号～H9年7号掲載分収録

LOVE
J-C

JUMP COMICS

フィレンツェ行き超特急の巻

ジョジョの奇妙な冒険 52

荒木飛呂彦

ジョジョの奇妙な冒険 52 荒木飛呂彦 集英社

9784088720395

1929979003906

ISBN4-08-872039-3
C9979 ¥390E
定価 本体390円十税
雑誌 43068－08

ジャンプ・コミックス

ボスの命令に従い、ポンペイの遺跡に「鍵」を求めてやって来たブチャラティ一行だったが、鏡の世界へ誘い込む敵スタンド、「マン・イン・ザ・ミラー」が待っていた／ 命をかけたジョルノの作戦が運命を決める…!!

ジャンプコミックス

BASTARD!!	1～16	萩原一至
影武者徳川家康	1～6	隆慶一郎・原哲夫
SLAM DUNK	1～31	井上雄彦
ろくでなしBLUES	1～42	森田まさのり
DRAGON QUEST ダイの大冒険	1～36	三条陸・稲田浩司
ジョジョの奇妙な冒険	1～52	荒木飛呂彦
BØY －ボーイ－	1～22	梅澤春人
キャプテン翼 ワールドユース編	1～14	高橋陽一
地獄先生ぬ～べ～	1～16	真倉翔・岡野剛
レベルE	1～2	冨樫義博
NINKU －忍空－	1～9	桐山光侍
るろうに剣心 明治剣客浪漫譚	1～14	和月伸宏
セクシーコマンドー外伝 すごいよ!!マサルさん	1～4	うすた京介
封神演義	1～3	藤崎竜
遊☆戯☆王	1	高橋和希
みどりのマキバオー	1～10	つの丸
陣内流柔術武闘伝 真島クンすっとばす!!	1～10	にわのまこと
幕張	1～4	木多康昭
人形草紙あやつり左近	1～4	写楽麿・小畑健
MIND ASSASSIN	1～5	かずはじめ
WILD HALF	1～5	浅美裕子
心理捜査官草薙葵	1～2	[illegible]
ホップ☆ステップ賞 SELECTION	1～19	
ライバル	番外編1～2	柴山薫
爆骨少女ギリギリぷりん	1～3	柴山薫
I"s ～アイズ～	1～2	桂正和
かっとび一斗	1～40	門馬もとき
わたるがぴゅん！	1～40	なかいま強
イレブン	1～34	七三太朗・高橋広
エンジェル伝説	1～9	八木教広
ダブル・ハード	1～10	今野直樹
ぼくを野球に連れてって！	1～2	こせきこうじ
天にひとしい	1	宇野彰宏
地獄甲子園	1～2	漫☆画太郎
つきあってよ！五月ちゃん	1～2	林崎文博
ドリームメイカーズ列伝	1	[illegible]
Mr. Clice（ミスタークリス）	Part1～2	秋本治
こちら葛飾区亀有公園前派出所	1～[illegible]	秋本治
鳥山明○作劇場	1～2	鳥山明
とってもラッキーマン	1～14	ガモウひろし
ふたば君チェンジ♡	1～8	あろひろし
快傑蒸気探偵団	1～3	麻宮騎亜
風のシモン	1～2	坂口いく
自由人HERO	1～8	柴田亜美

★各巻とも好評発売中!!

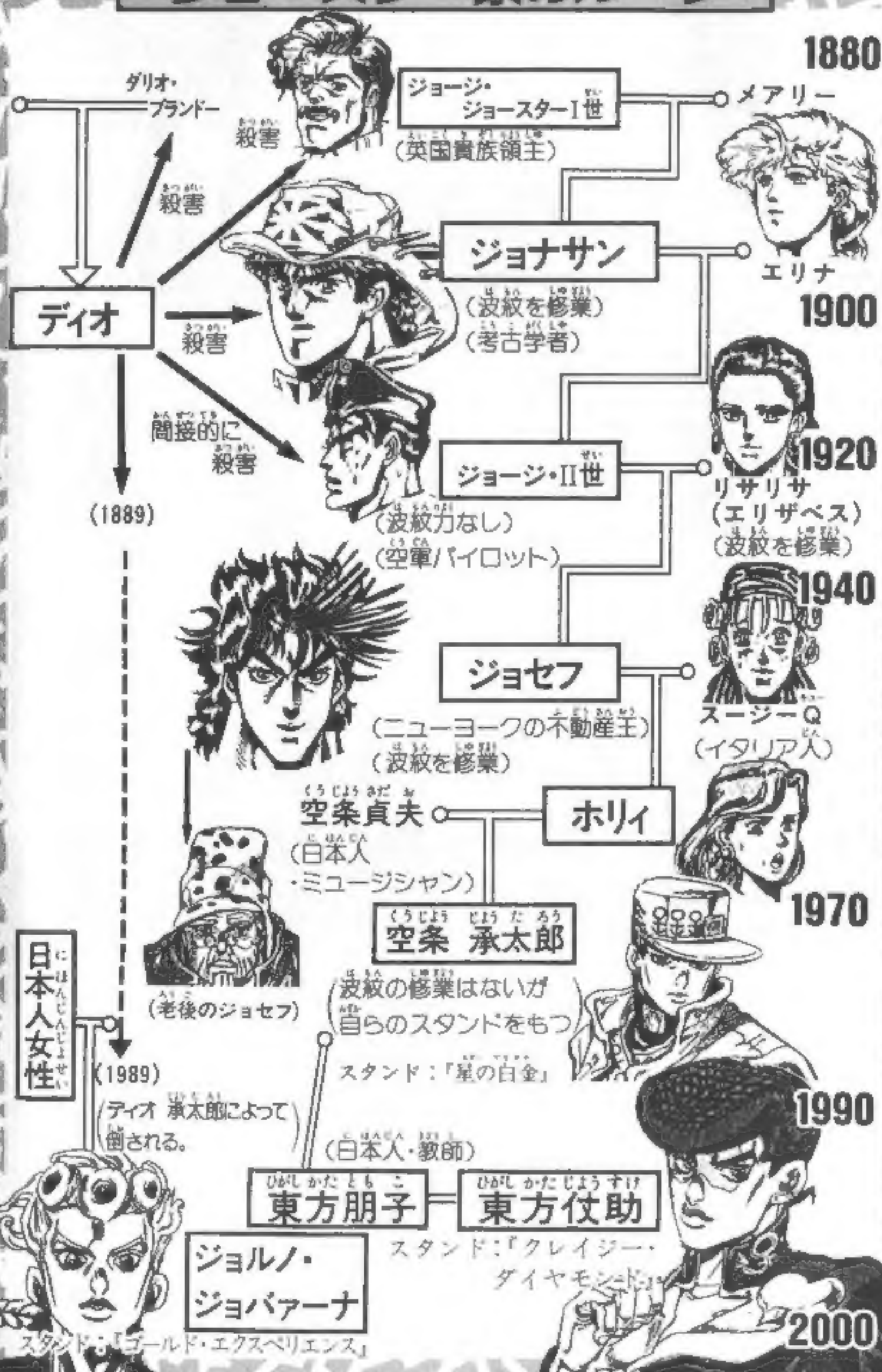
JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険

第52巻

フィレンツェ行き超特急の巻

荒木飛呂彦

ジョースター家のルーツ
1880
ダリオ・ブランドー
殺害
殺害
ジョージ・ジョースターI世
（英国貴族領主）
メアリー
エリナ
ジョナサン
（波紋を修業）
（考古学者）
1900
ディオ
殺害
間接的に殺害
（1889）
ジョージ・II世
（波紋力なし）
（空軍パイロット）
1920
リサリサ
（エリザベス）
（波紋を修業）
1940
ジョセフ
（ニューヨークの不動産王）
（波紋を修業）
スージーQ
（イタリア人）
空条貞夫
（日本人・ミュージシャン）
ホリィ
1970
空条 承太郎
（老後のジョセフ）
（波紋の修業はないが自らのスタンドをもつ）
スタンド：『星の白金』
日本人女性
（1989）
（ディオ 承太郎によって倒される。）
1990
（日本人・教師）
東方朋子
東方仗助
スタンド：『クレイジー・ダイヤモンド』
ジョルノ・ジョバァーナ
スタンド：『ゴールド・エクスペリエンス』
2000

トリッシュ・ウナ（15歳）ボスの娘。

ブチャラティ（20歳）
スタンド：「スティッキィ・フィンガーズ」

ジョルノ・ジョバァーナ（15歳）

ミスタ（18歳）
スタンド：「セックス・ピストルズ」

フーゴ（16歳）
スタンド：「パープル・ヘイズ」

ナランチャ（17歳）
スタンド：「エアロスミス」

アバッキオ（20歳）
スタンド：「ムーディー・ブルース」

前巻までのあらすじ

これは一世紀以上にわたるディオとジョースター家の因縁の物語である…。

現代の日本——ジョセフ・ジョースターの孫、空条承太郎はスタンドと呼ばれる超能力を持っていた。その影響で倒れた母を救い、元凶であるディオを倒すため、承太郎たちはエジプトに向かい、死闘の末、ディオを倒した。

＊＊＊

一九九九年の日本。地方都市、S市杜王町では「弓と矢」によって、スタンド使いが増やされていたのだ!! 東方仗助と仲間たちは、その正義の心で、邪悪なスタンド使い、殺人鬼、吉良吉影を追いつめ、これを倒した…。

＊＊＊

二〇〇一年のイタリア。ディオの息子、ジョルノはギャング団〝パッショーネ〟に入団、ブチャラティたちと行動をともにする。そしてブチャラティにボスの娘を護衛する命令が下った。しかし裏切り者集団の追手が迫る…!!

ジョジョの奇妙な冒険

GioGio 第52巻

フィレンツェ行き超特急の巻

もくじ

こ…こいつはッ！まさかッ！
オレの姿が見えたのなら……！！
ドドドド
ドドド
マン・イン・ザ・ミラーとパープル・ヘイズ
その④
ジョジョの奇妙な冒険

ズッ
ギャアァーーッ
スタンド名——
マン・イン・ザ・ミラー
本体名——
イルーゾォ
おまえも
もう
おしまいだッ！
ゴッ
や…
やばいッ！

AVEC

クソ…わかりかけてきたぜ…
バラバラバラバラ
「鏡の中」だったのか
そんなのがあるって
いうのならだが
敵の能力は 今のように
「鏡の中」から攻撃して来て
そう「フーゴ」のヤツは…間違いないぜ……
「鏡の中」に引きずり込まれて消えたんだ
「本体」と「スタンド」を分離させられて…!!
キラッ
キラッ
キラッ

攻撃をかわそうとこなごなに破片にしたのは逆効果だぜアバッキオ…おまえを引きずり込む「入口」が逆にいっぱい増えたって事だ
映れば それは「外と中」の出入口！
破片になって「出入口」がたくさん散ったっていうだけの事だッ！おまえをつかめる「出入口」がなッ！
そして許可してやるッ！おまえ自身だけ鏡の中に入る事をーッ
!!

ズオオオオオ
入った‼
中にひきずり込んだッ！？
そしておまえらが必要としている
その「」も　もう
オレがいただくぞッ
！
ズキ

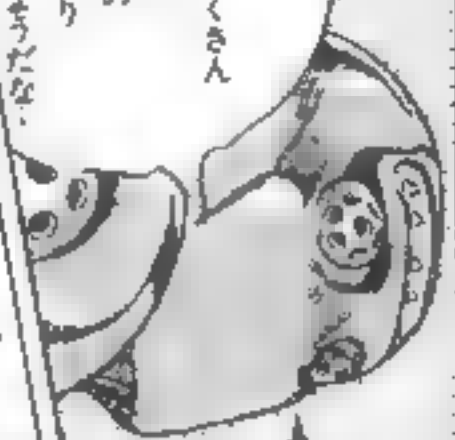
な
メリ
メリメリ
何だとオ〜〜〜〜〜ッ!!
ス…スタンドの首をつかめるのは……
メキッ!
メキ
うっ!
ググ
"スタンド"だけだ…
引きずり込んだおまえがオレの「マン・イン・ザ・ミラー」の首をつかめるはずが!!
「磁片」にしたのは逆効果なんかじゃねえ〜〜〜
おまえののぞくスペースが狭くなったって事だ誰をひきずり込むのか……よく見えなかったろ?
許可するだって?
オレだけ入る事を?
ピッ
ピッ
ピッ
00:00:0
ピッ
ピッ
ピッ
ピッ

グラッツェ！引きずり込まれてやるぜ！
こ…こ・い・つは!?
ピッ
ピッ
ピッ
『ムーディー・ブルース』！
うげえッ

「スタンド」だ……
し……しまった
「鏡の中」……

「裏返しの世界」……
か……
おまえはそこを移動して……
ここまでオレを追って来たってわけか…
わかるわけねーよな…実際…こんな「鏡」…今のように攻撃されるまでは……解けっこねー能力だぜ
おめーをブッ殺さなきゃあ外に出れねーっつーのならッ!
そーするためにオレは「ムーディー・ブルース」を中に入れたんだがよッ!
そしてフーゴのやつも今この中にいるんだな…
向こうだな……!
この鏡の中のさっきの場所にいるってわけで
どうやればこっから出れんのかな?

……
「姿」を化けさせられる能力……とはな……
してやられたぜ……
まんまと…!
うりゃああっ——っ

ブゲエ
「鏡の中」に引きずり込む能力
その事に「エネルギー」をたくさん使ってるとみえてスタンドそれ自体の攻撃パワーはあまり強いとはいえねえようだな…
立ちな…
来いよ……立ってかかって来な！
最初に言ったとおりおまえは「もう終わって」いるんだ
闘って勝てるのは無力な人間だけか？え？
いいか……
おまえのスタンドが入って来たのはチト驚いたが何も変わりはしない！
鏡を通してオレを見たおまえはおしまいさ……

オレが立たないのは
しゃがむためさ
必要だからしゃがんでるんだ
そりゃそうさ！オマエは蹴とばされやすいように……
しゃがんでいるんだ
うりゃあああっ

!!
!?
この鏡の「破片」を拾うためにしゃがんでるんだよ
おい…何たまげてんだよ……この「腕」か？
おまえがよーく知ってる腕だろ？これはよ

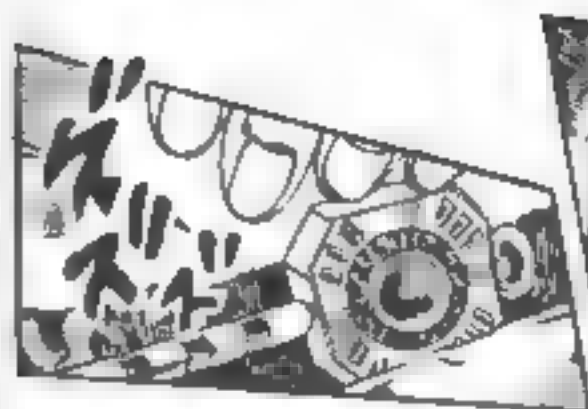
言っただろう
映るものであるならばそれは全て「出入口」！
おまえをこうやってもうひとつの鏡で映せばそれもまた「出入口」……わかったか？引きずり込まれているのは……

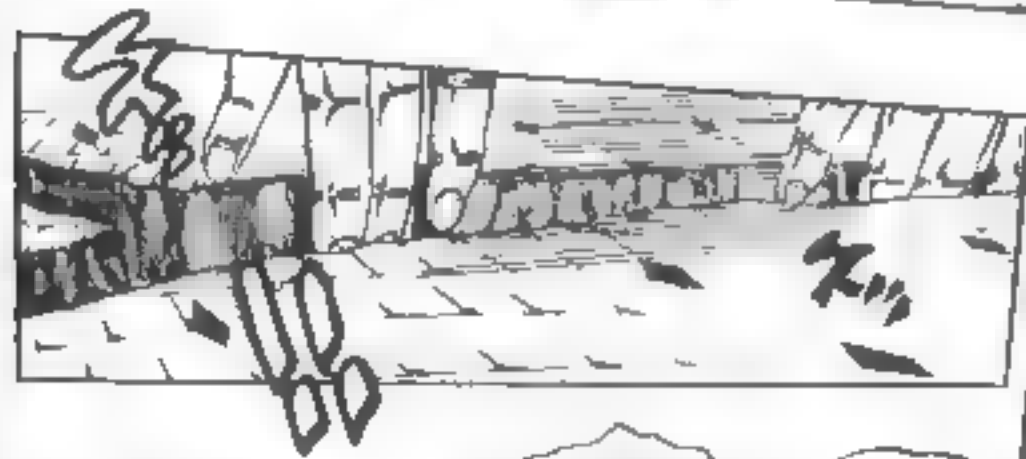
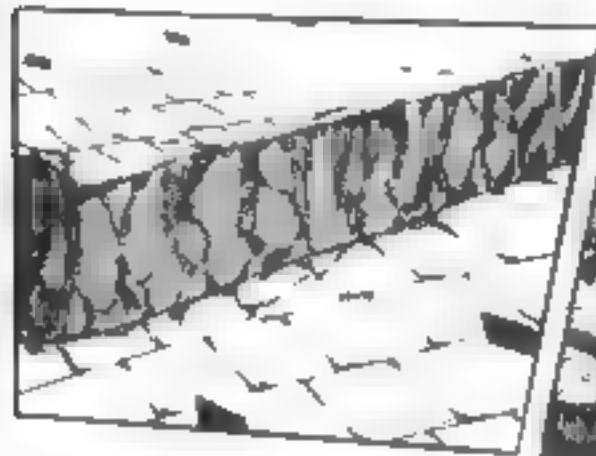
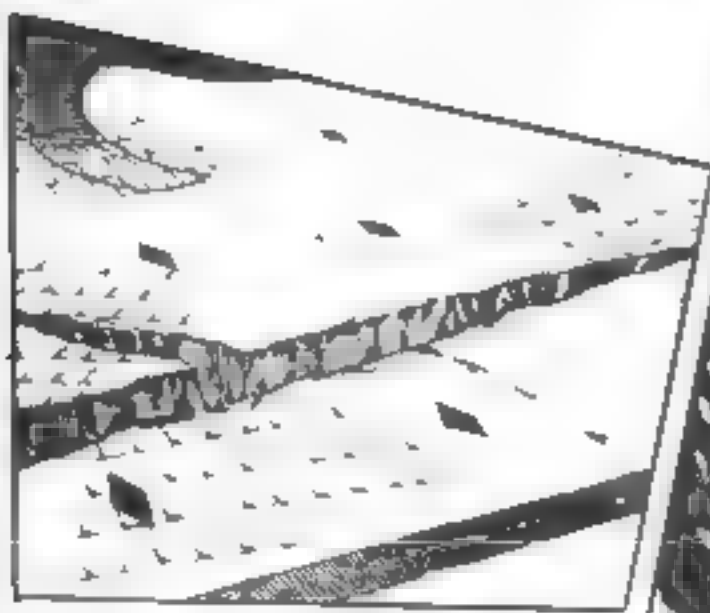
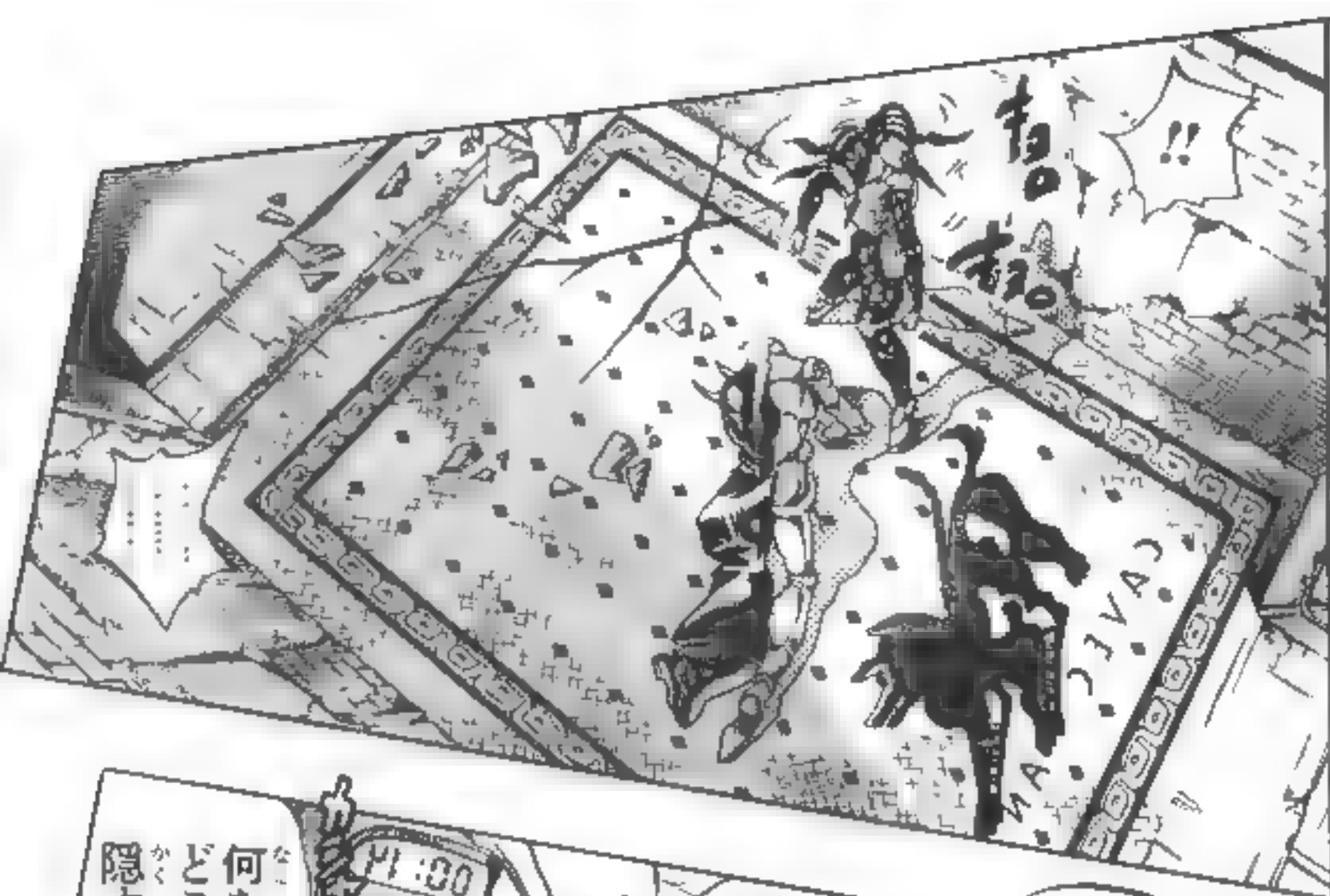
おまえの腕だ!
おおおおおおおおお

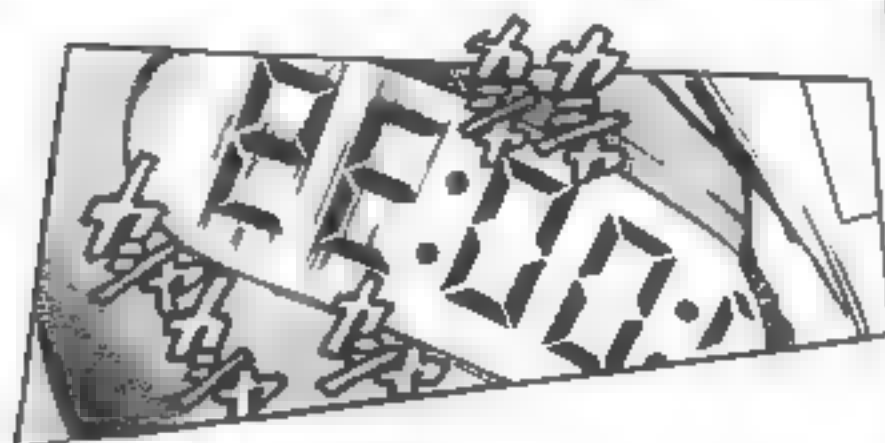
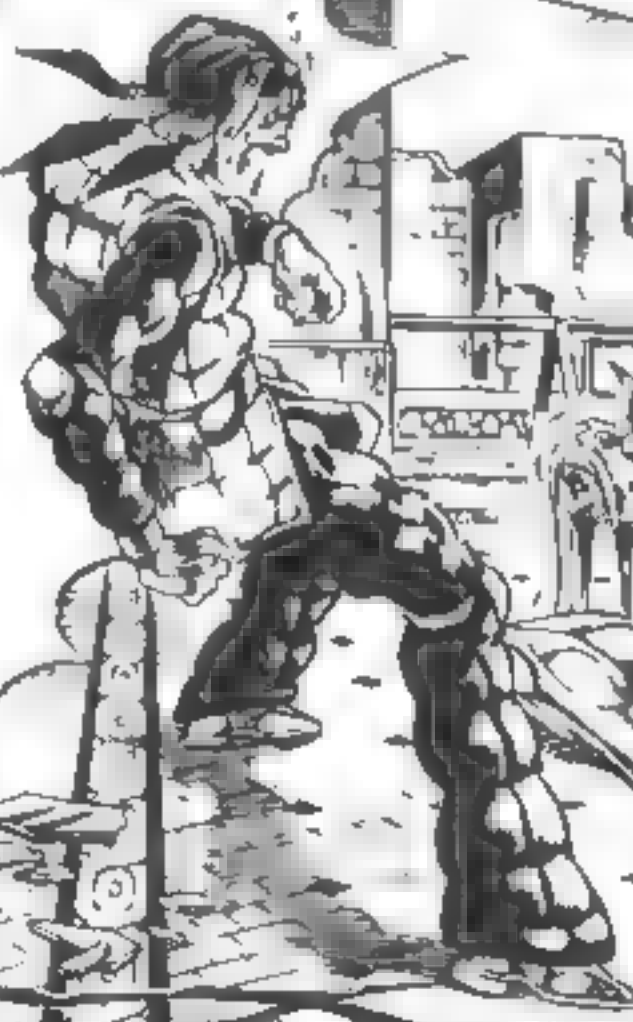
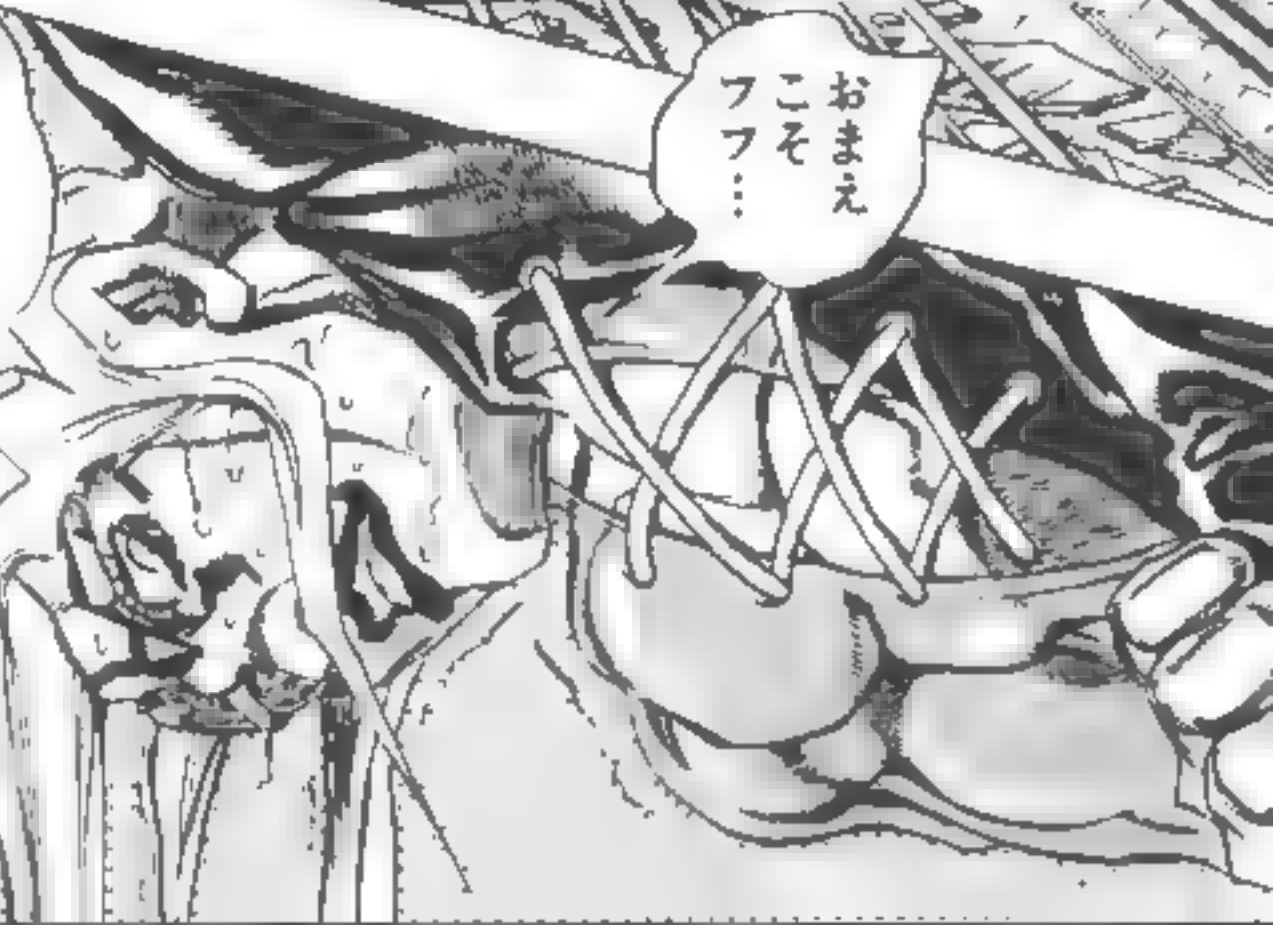
殺すまで
チョロチョロ動く事のないように……
「体」半分だけ入るのを許可する……！
スタンドも同様！
半分だけ出る事を許可する！
もう おまえもスタンドも動けないッ！

鍵はオレがもらったッ！
ドドド
ドドドドド
くくそ
何てこった
ここのままでは…
「鍵」を取られちまう…
それは命令を失敗して
こいつに始末される
としうだけじゃあなく
言うとおりに
なっちまうって
事じゃあねえか
ちくしょう!!
それはこのオレの
誇りがゆるさねえ
体が半分だけで
もう動けねエだと!!
動けなくても
やる事はあるぜ…!!
仕留めてやる!!
命を失おうとも
絶対オレがこの野郎を
仕留める!!

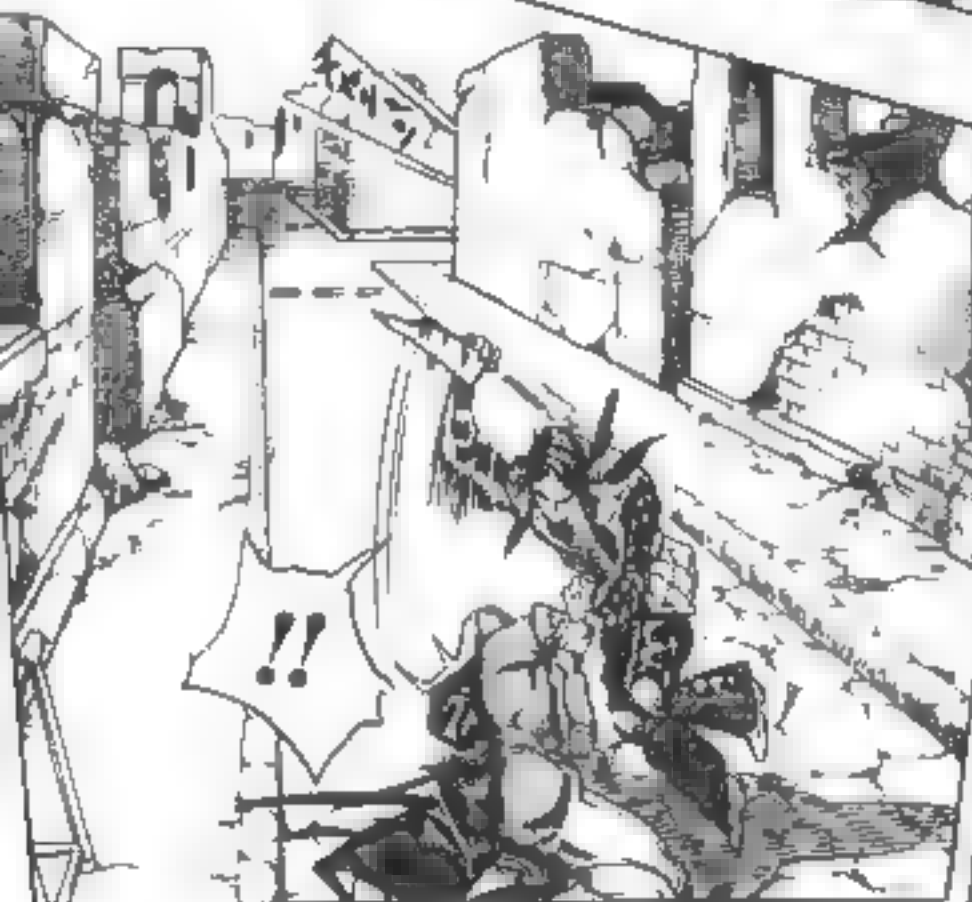
「フーゴを助け、敵の謎を解く事がみんなの安全を守る事だと思いますッ！」
キ…
だけはッ！
「違う！！3人とも全滅する危険を冒す事がまずいんだ！」
マン・イン・ザ・ミラーと
パープル・ヘイズ
その⑤

「■」だけは…
絶対に……
渡さねえ…
「■りと「■子」」にかけて
この「■」だけは
このレオーネ・アバッキオが守る!

ブクウ
本体半分は「鏡の中」へ！
スタンド半分は「鏡の外」へ！
ブッ！ぐフ！
おまえはもう動けない……
たしかにおまえが体験したとおりオレの「マン・イン・ザ・ミラー」は鏡に引きずり込む事に「力」が集中しているので「破壊力」は今ひとつ！そんな特徴はある
だがおまえをこんなザマにすりゃあ即死させるのに「力」はいらねえーんじゃねーか？
6歳の子供の力でこれをチョイと突っ込んでやりゃあ簡単なんだぜ
オレの勝ちだッ！くたばれアバッキオーーッ
この「鍵」のありかを教えてくれてありが………

ムッ！
!!
どうかしたのかよ……
早くやれよ……
オレを始末しねーのか!?
……

!!
何を
どこに
隠すって？
何の事かな？
何やってんだ!?
アバッキオ……
隠すなんて
ナガきやがって！
半分ずつの
てめーの「体」と
「スタンド」は
動かせたとして
せーぜー引きずる
ようにだ…
その辺探せば
すぐにわかるんだぞ
ええーおいッ！
隠す？
ハッ！

てめー
何をやってるッ！
その「手」を
見せろッ！

ギャギャン
な…!?
ギャギャン
何やってんだ!?
この野郎ォ
オオ──────ッ!?
おまえこそ
フフ…
何かなくしたのか?
「探し物」は……
見つかったか?
……え?

ま…待てよ
ブッたまげてる
場合じゃねー
何で アバッキオ……
自分の「手」をこんな事まで
する必要があるのか……？
こいつが
「手」を移動させるとしたなら
「腕の外」からでなくちゃ
動かせねー
まさか
!!
手を切断したって
事は……
「腕の外」の こいつの
スタンドの「手」は
どうなってんだ？
「手」が
ねえッ！

まさか
てめ～の
スタンドはッ！
キ……
「」を持ってるッ！
スタンドの手がッ！
移動していく
角を
曲がったぞッ！
！

戻っていくッ！てめーのスタンド
さっきの場所に戻せるのか!!
そのために「手」を鏡の破片で……!!
たしか！角を曲がった先にはジョルノとかいう新入りの小僧がいた！てめー　やつにアバッキオ！「■」を渡そうとしているのか!?
さっきオレのノドをかっ切っておけばよかったか？
そうすりゃあスタンドの「手」の動きは止まっていたのによォ～～～
!!
おっとおしい！殺すのがちょこっと遅かったな……
今のは「■」が石畳に落ちて止まった音だ…
もう「■」は拾われる！

くだらねー事やりやがって!!
だが逃がすかジョルノとかいう小僧!
やつをも
引きずり込んでやるぜ――ッ
「鍵」を拾ったならさっさと行けジョルノ!ブチャラティのところへよオ~~~~~
これで理解したか!くそったれのジョルノが……フフフ
オレたち3人のうちひとりでも無事に戻ればいいんだ……
「鍵」を持ってオメーが無事帰れば……
オレとフーゴはそれでいいんだ……
最も大切な事は『命令を完了する』事だ……ヤツをまいて遠くまで行くのはもう簡単だろ?
フフ
フ
クククク

!?
フハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
!?
おい、アバッキオ〜〜〜ッ
この先でよ〜〜〜〜 何が起きてるか予想できるか？オイ
!?
おめえはまったく いい仲間を持ったなあ〜〜〜 ええ おい！
おまえが そんなにも苦労して せっかく「手」まで失って とどけてやった「鍵」を この裏で何が起こってると思う？

逃げねーでいるんだよ！小僧がッ！
なぁ〜〜んにも起こっちゃあいねーのさ！しゃがみこんでるよォ
「鍵」を拾ったまんまだ！フハハハハハハハハ！
追っかける必要もねえ！あの小僧状況がよくわかってねえーんじゃあねーか？これから自分に何が起ころーとしているのかをよォ――

ジョルノ てめ――
早く行けえ――ッ
『鍵』を持って行けエエエエエエ――ッ
鏡の『中』で叫んだって
聞こえねーだろーが
よォ〜〜〜〜
ジョルノの方へは
声がとどかない
『鏡の外』のジョルノには
オレが こうやって近づいて
行こうとしているのさえ
気づいてはいない
ドドドド
ドドドドドド

さて
オレがとるべき
道には2つの
選択がある
まず ひとつめは
「■」をこの鏡の中に
ゲットしてから
ジョルノを
「始末」する方法
そして
もうひとつは
まずジョルノのノドを
かっ切ってから「■」を
安全にゲットする方法
な………
何てこった
………
も…
もうダメだ…
先に
ジョルノの
ノドをかっ切る
方にするよッ
!
オレの姿に気づいたッ!
『ジョルノ本体だけ
入る事を許可するッ』!

ドドドド
引きずり込んだッ！
かっ切れッ！『マン・イン・ザ・ミラー――』ッ

な…!?

なっ
なにィィイイィィ――ッ!!
こ……
こいつ……
バ…バカなッ
!
「鍵」を渡す
事はない
そして
フーゴも
アバッキオも
無事で
みんなのところに
帰る!
「ウイルス」だッ! こ…こいつ ジョルノ!
正気か!? てめーも死ぬぞ!
フーゴの「パープル・ヘイズ」で
汚染されて
やがるッ!!

スタンド名ー「パープル・ヘイズ」 本体ーパンナコッタ・フーゴ		
破壊力ーA	スピードーB	射程距離ーC
持続力ーE	精密動作性ーE	成長性ーB
能力ー両手の拳のところにカプセルが数個ついており、それが割れると「殺人ウイルス」をまき散らす。ウイルスに感染した生物は30秒で肉体組織がドロドロに、腐ったようにされて死ぬ。なおウイルスは日光で殺菌されるが、ウイルスはまだ成長もするのだ。		

A一超スゴイ　B一スゴイ　C一人間と同じ　D一ニガテ　E一超ニガテ

マン・イン・ザ・ミラーとパープル・ヘイズ その⑥

レオーネ・アバッキオは
高校を卒業すると
「警官」になった

それは 純粋に
正義感からの
動機であったし
心の底から
人々を
守りたいと
思ったから
であった
……

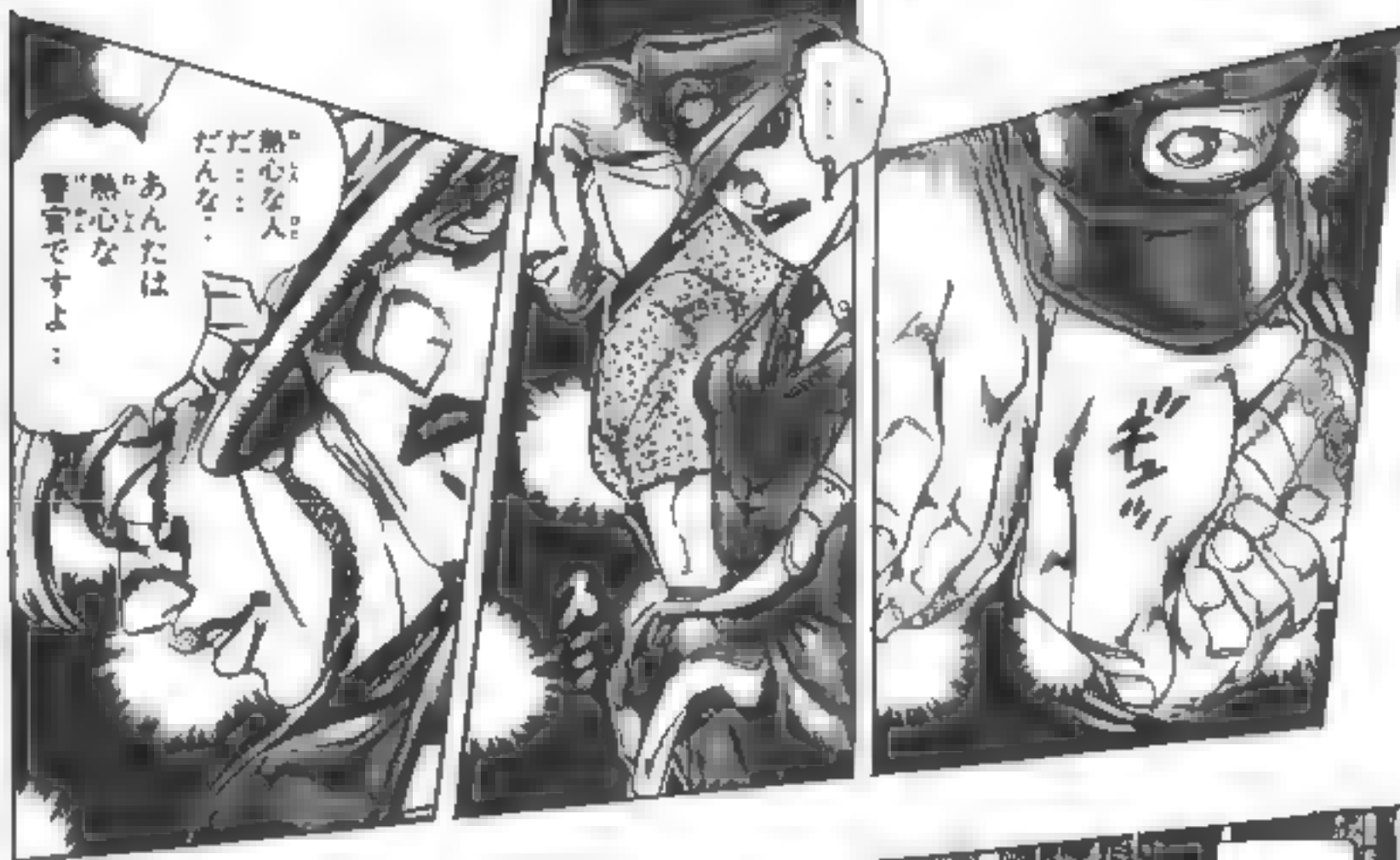
だが あこがれの
警官になって まもなく
アバッキオは この仕事の
大いなる「矛盾」に
気づき始めた

警官は
「命をかけて
人々を守る」……
しかし 同時に

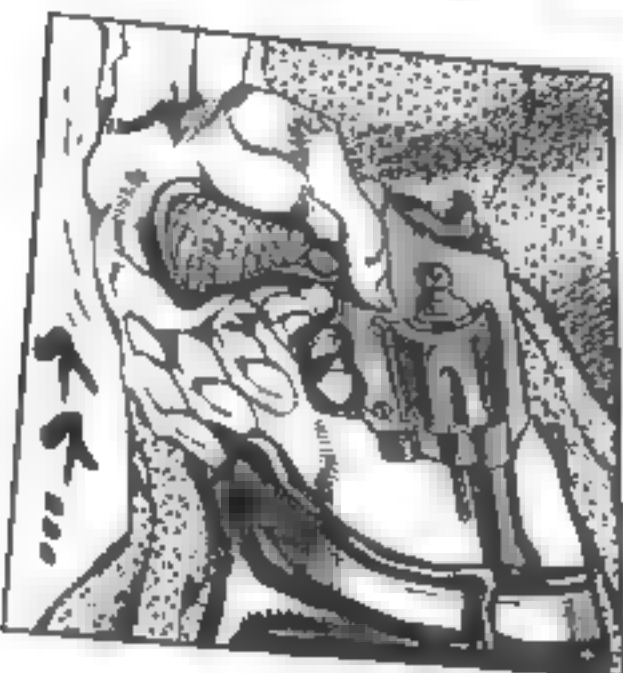
その 命をかけて奉仕しているはずの
大衆が 自分たち警官の目を
ごまかして 盗みをやったり
車の人身事故で逃げたり
パトカーの窓を石で割ったりする

4U
4U
4U
守るべき大衆とは 同時に
愚かで卑しく歪んだ 油断の
ならない獲物でもあるのだ
彼らは恩知らずで 要求がましく
「警官は何をやってる!」
と無責任に批判し
悪口をたたく
警官たちが クソにも劣る
悪党を 命がけで捕まえても
大衆のための法律は
カネさえつめば
そいつらを 寛大に
保釈してしまう

やがて アバッキオは
この「汚職」を
学び始めた――
ねえ
おまわりさん
見逃して
くださいよォ
あの女の子は
父親が借金してまして
カネが必要
なんスよ!
夜の街に
立たなくっちゃあ
ならねーんですよ
誰も困る
わけじゃあ
ねーし
「なぜ悪い?」
こんなクソどもから カネを
受け取るのが なぜ悪い?
この街は 全て丸く
治まっている…!
オレが こいつらを
逮捕したとしても
こいつらは 保釈金を払って
出てくるだけだ
カネを払うのが「オレへ」か
「裁判所と弁護士へ」かの
違いだけだ!!

オレが命がけで
この街を守っている
事には
かわりないんだ
だからな!!

熱心な人だ……だんな……
あんたは熱心な警官ですよ……
ギュッ
ある夜
強盗が老人の家を襲っているという通報があったので
アバッキオは相棒の警官と現場にかけつけた
アバッキオ!!裏口へ回れ!
裏口から中へ入ると窓から逃げようとしている犯人とバッタリ出会った
動くな!逮捕するッ!
あのボン引きだった売春だけでなく盗みもやるというわけだ

ポン引きは言った
やあ あんたか
オレ…とんだトジふんじまったな…
なあ 見なかった事にしてくんねーか？
見逃してくれよ あんたに迷惑はかけねーからよ……
だめだ……
逮捕する！
なあ よく考えなよ……
オレを逮捕したらあんたがオレから……
ワイロを受け取ってる事もバレちまうんだぜ……
その銃あぶねーからよォ――
向けねーでくれよ……
……
……
スス…

何してるアバッキオッ!!
そいつ銃を持っているッ!

うっ
うっ
うう
アバッキオの未来はそこで終わった……
彼は汚職警官として罰を受けただけでなく
自分の行動が原因で相棒を死なせるというはずす事のできない十字架を背負い……
そして彼は　身も心も「暗黒」へと落ちていった
彼には生きがいだとか心を動かすものはもうなくなっていった
どこで誰が死のうがたとえ自分の手足がなくなろうが心は動かないだろう
……そうなっていった

ただ…ひとつ…
「巨大で絶対的な者」が出す「命令」に従っている時は 何もかも忘れ安心して行動できる
(兵隊は何も考えない)
「鍵を取ってボスの娘を守る！」この命令を遂行する事が大切なんだ！
こいつは…！
「鍵」を持って帰る安全よりもッ！
オレとフーゴを助ける危険を選んでやがるッ！
この…くそガキは…！
「パープル・ヘイズ」のウイルスで もはや自分は確実に死ぬんだぞッ！

ちくしょう！
このガキッ！
!!
感染して
入って来やがったッ！
正気かァァァァ
てめエ——ッ

……

「P・ヘイズ」が割った鏡の破片が……パズルのように…
ジョルノがならべて調べたのか？

敵はアバッキオを追って行く時破片を何枚か持っていったその「破片」がここにない！

ジョルノはそれに気づいた

この「たりない破片」から敵の能力の謎を推理し！

ジョルノはあえてウイルスに感染して「鏡の中」に引きずり込まれた…!!

これ以外にこの鏡の世界でこいつを倒す方法はないからッ！

ウワアアァァ
ググ
ググゥ
うおあああああぁ──ッ
感染してやがる
ちくしょおおお──ッ
ああ……同じ症状ですね
ぼくと
「パープル・ヘイズ」の
ウイルスは
「30秒」程度で
……
ドドドドドドド
増殖しながら
全身にまわって
いくそうです
もう　おしまい
なんです……
君は　ぼくを
引きずり込んだ時に
すでに　手遅れに
なっているんです
もっとも……
ぼくの方が
先に感染した分
早く死ぬでしょうがね…
きっと……

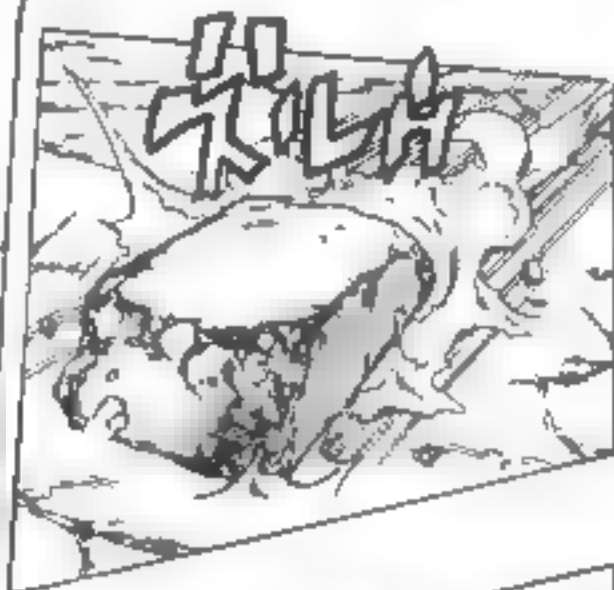
ちくしょおお………
何て事しやがるんだ……
こんなマネしやがってエエエ
うううう〜〜〜〜っ
だがオレを倒したと思ってるようなら
甘く見るなよォ
『マン・イン・ザ・ミラー』の世界なら
まだ遅くない
オレも覚悟はいるが
まだ遅くない！
『マン・イン・ザ・ミラー』
オレだけが 外に
出る事を許可しろォォォォ———ッ

うおおおがががががが だが！ ウイルスは 許可しないイイイイイイ――――ッ
感染した部分は 出る事は 許可しないイイイイ イイイ――――ッ!!

な…何だって　まずいぞッ！
ウィルスの部分がちぎれていくッ！
外に出れば！「ウィルス」を体から切り離せる！
アバッキオの野郎だって「」のために　自分の手を切断した……このイルーゾォだって　こっ……
こォォれしきイイの事ッ！!!
こ・ォ・れ・し・き・イ・イ・イ・イ・の・オ・オ・事・オ・オ・オ・オ・オ・オ!!
逃げられるッ！ジョルノそいつをおさえろォォォォォオ――ッ

ドサ
外に……
……鏡の外に
逃げられた……!!
ジョルノ おまえが せっかく
自分の身を 犠牲にして ここまで入って 来たのに…
出たか……「鏡の外」に…
やはり出て 逃げると 思いました
だが この方が いい
すでにヤツは どっちみち 倒れる運命 出た事により ぼくの命が 助かる可能性が できたという事

フーゴ
外に出たという事は「パープル・ヘイズ」で追跡できるッ！やつに「とどめ」を！
うっ…くっ…
だめなんだ……ジョルノ……
任務は失敗だ……その「鍵」は やつに取られるッ！
いいか その「鍵」を持ち上げてみろ！「」でもいい…
持ち上がらないだろう……？この鏡の中では ヤツしか「物」を動かす事はできない……
「」も動かせないから ここから 外の世界は見る事はできない！

中から今 やつがどこにいるか 位置が わからないんだぜェーーッ
オレたちは 攻撃のしようがないッ!
ヤツの 位置なら わかります
外の 「ゴールド・E」が
このレンガを 外で 今 一匹のヘビに 変化させています だから動いている!
ヘビってやつは 人間の体温を 感じとって 位置がわかったり するんです
ズルル
ズル
ズル
ズルルッ

うがあ あああああ〜
ス スゲエやばかったがっ だが ざまあみろ ううう ううう ハアハアハアハアー
フハ…… フハハハ… 助かった…! オレの…オレの 覚悟の勝利だッ これしきの事ッ!
?!
ハッ!

な・・・なにィ〜〜〜!!
せ・・・せっかく腕を失う覚悟までして・・・・・・
外に出て来たっていうのにこんなこんな〃
つかんだ!!

うあぁあぁあああああああ
や…やめろ…
マン・イン・ザ・ミラーとパープル・ヘイズ
その⑦

やめろォォォ
くっそォオオオオオ
くらっちまうッ！
こ……
この
「ウイルスの
カプセル」！
ふ…再び この
毒のカプセルを
割られたらッ！
せ せっかく 腕を捨てて
外に出て来たのに
せっかく 危機を
のりこえてきたのに！
はっ
！

くらわせろ————ッ
『パープル・ヘイズ』ッ！
こ…幸運は！ まだ このオレを 見捨ててはいない！
破片だ！ 『鏡の破片』が 壁にひっかかって いるッ！
もし このパンチを 一瞬でも 止める事ができるなら…！ オレの『マン・イン・ザ・ミラー』が こいつの拳を たったの 回 ガードできるなら！
『こいつの腕』を『鏡の中』へ つっこんでやる事ができるッ！

「マン・イン・ザ・ミラー」最後の力をふりしぼれ———ッ!!

やっ…………

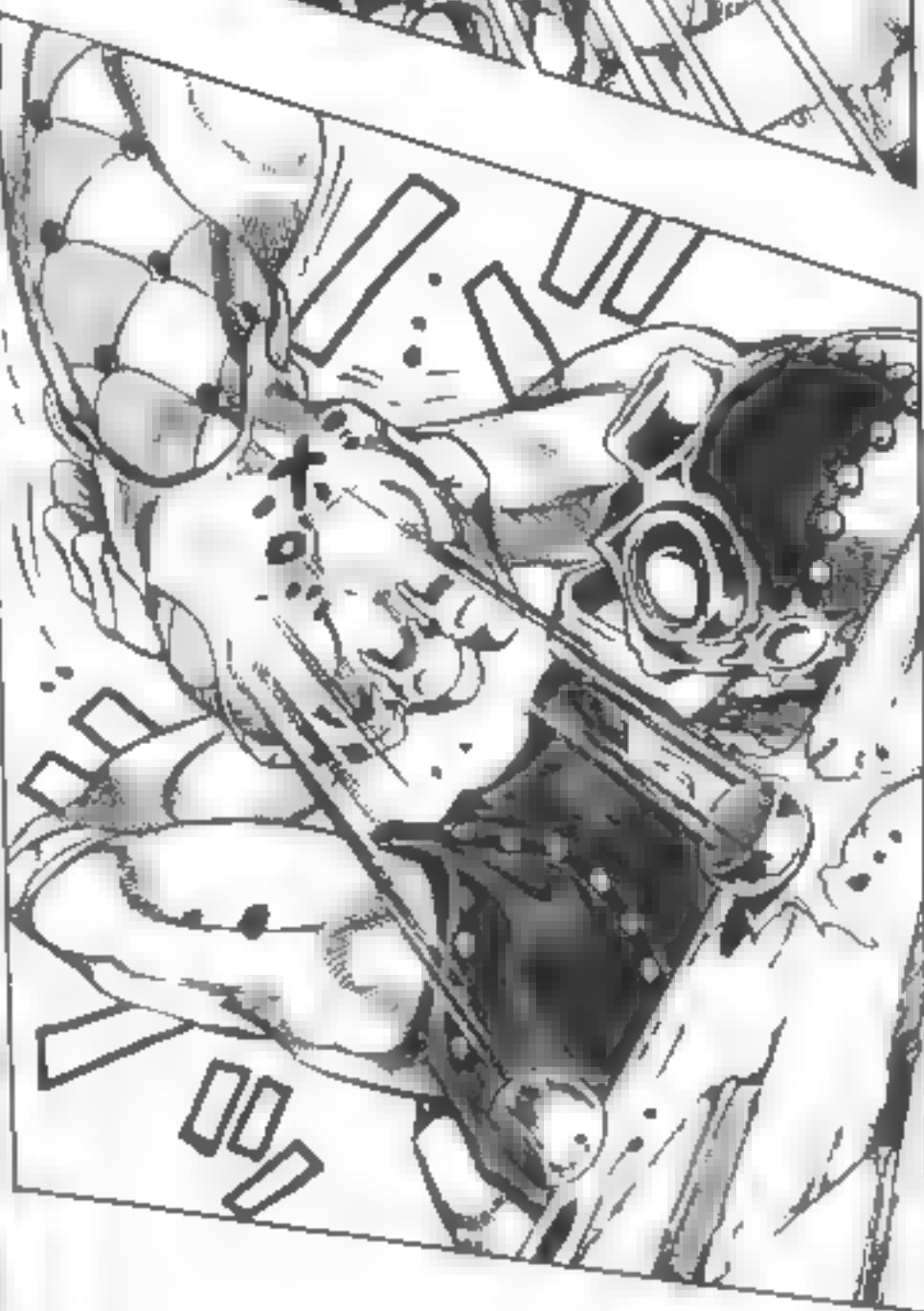
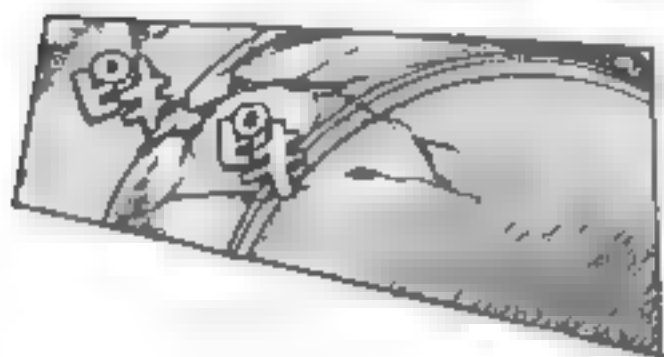
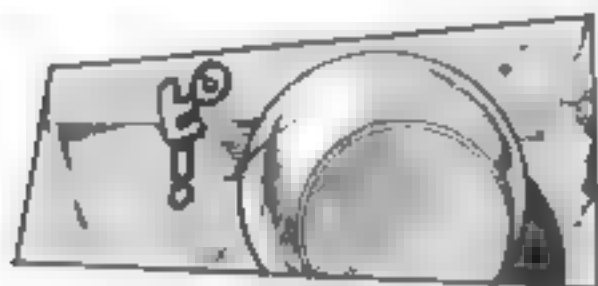
やったアーーーッ
止めたぞッ！このままこの腕をこの破片につっこんでやれーーーッ
えっ

ピキ
ピキ
ピキ
なっ
ピシ
ピシ
ピシ
何だってエエエー
なあああんだってエエエエエエエえええええええええ
プ
シオオオオオオ
オオオオオ
せつ…せつかく……!!
せつかく こいつの拳をガードできたのに—
せつかく 覚悟決めて 腕まで失って 「鏡の外」に 出てエ 来ィたアのオォにイイイ

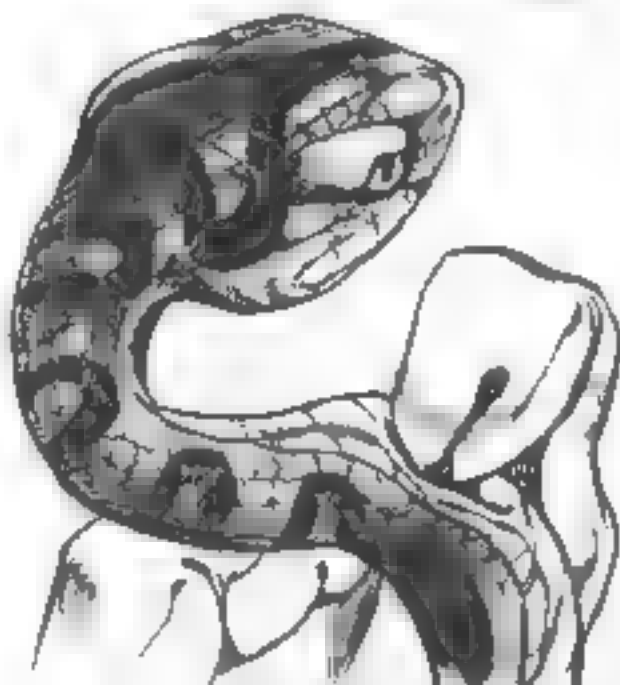
うわぁあああああああああ
ブッシャアアアア——ッ
ドドドドドド

ドグシャア!!

ハッ!!
パァアアア～ッ
チョロ
チョロ
ゴミ箱

や…やったぞッ！鏡から出れた！
やつを倒し！やつの能力は消滅したッ！
シュヨォオオア
やつは倒したがッ！しかし「パープル・ヘイズ」のウイルスはもう
おまえの全身にも増殖して回りつつあるッ！感染したらぼくにもどうする事もできないッ！
し…
しかしジョルノ…

ええ……フーゴ　ですから　これがいいんですよ……これがね
ヤツが「鏡の外」に出てくれたのがいいんです！
汚染されたぼくを「鏡の中」に引きずり込んだ時点で　ヤツの敗北は決定したんです　ですが　ヤツが敗北を認めないで　外に出てくれたのは　ほんとにうれしかった
ぼくが死ぬより先に
「鏡の世界」が解除されたので！
ぼくは死ぬ前に　この「ヘビ」に会う事ができたんですからね！

ハッ！
ひょっとして〃
そ…そのヘビ
し…死んでいないぞッ！
パープル・ヘイズの「ウイルス」の中にいるのに…！
生きている…ッ！
ぼくはカプセルを割りウイルスに感染して
鉄の中に引きずり込まれました
この「ヘビ」はその場所で生まれたヘビです
カプセルを割った場所のレンガから　あえて
産まれさせた「ヘビ」です
「ウイルス」だらけの場所から
産まれて来て
発病しない「生き物」なんですよ
どういう事かわかりますか？
ゴゴゴゴゴ
本当　このヘビに会えてよかった

そのヘビには『免疫力』があるという事ッ！
そして『免疫』を持つその生き物の細胞や血液からは……!!
ウイルスの増殖を止めるワクチンが獲得できるッ！
ドドドドド
わたしたちの体に悪い病気が入って来た場合それをやっつける体のしくみが「免疫」である。しかし そのしくみがまったく役に立たない「パープル・ヘイズ・ウイルス」のようなものが侵入した場合
「免疫」を作ってやらなければ助からない。その免疫を作る薬が「ワクチン」である。そして「ワクチン」は免疫のある他の生き物の体から獲得できるというわけである！

『ゴールド・E』ッ！
このヘビの血液から
ワクチンを取り出し ぼくの
体に注入しろッ！
ビシ ビシ

うあああくくくっ
うああああ
くっ
くっ くっ……っ！
……
ジョルノ・ジョバァーナ
こいつ……仲間のみんなは新入りで何を考えているかわからないヤツだと思っているが
いや、実際ぼくもそう思っていたが……とんでもない事を考え実行するヤツだ……
そして その行為には「信頼」できるものがある
言葉で表現するものではない真実の信頼がこいつにはある！

ジョルノッ！
おまえの命がけの行動ッ！
ぼくは敬意を表するッ！
う…
うお… う……
い… いえ フーゴさん
「命がけ」というのは ぼくの事じゃあない
ぼくはただ 予想どおりに 行動しただけ
敵が 外に逃げるのも 予想してたし
ヘビがワクチンを 作ってくれるだろう という事も 予想してました
「命がけ」というのは
アバッキオの事です
今…… 彼の「手」は 重症のはずです 「命」がどうなろうとも 「腕」を守ったのは 彼であり そして アバッキオが ここまで「腕」を 運んでくれなかったら 敵は倒せなかった
ぼくの事 よりも
フーゴ…… 彼の手当てを……

…………
…………

くっそォ
ジョルノ

ボゴボゴに

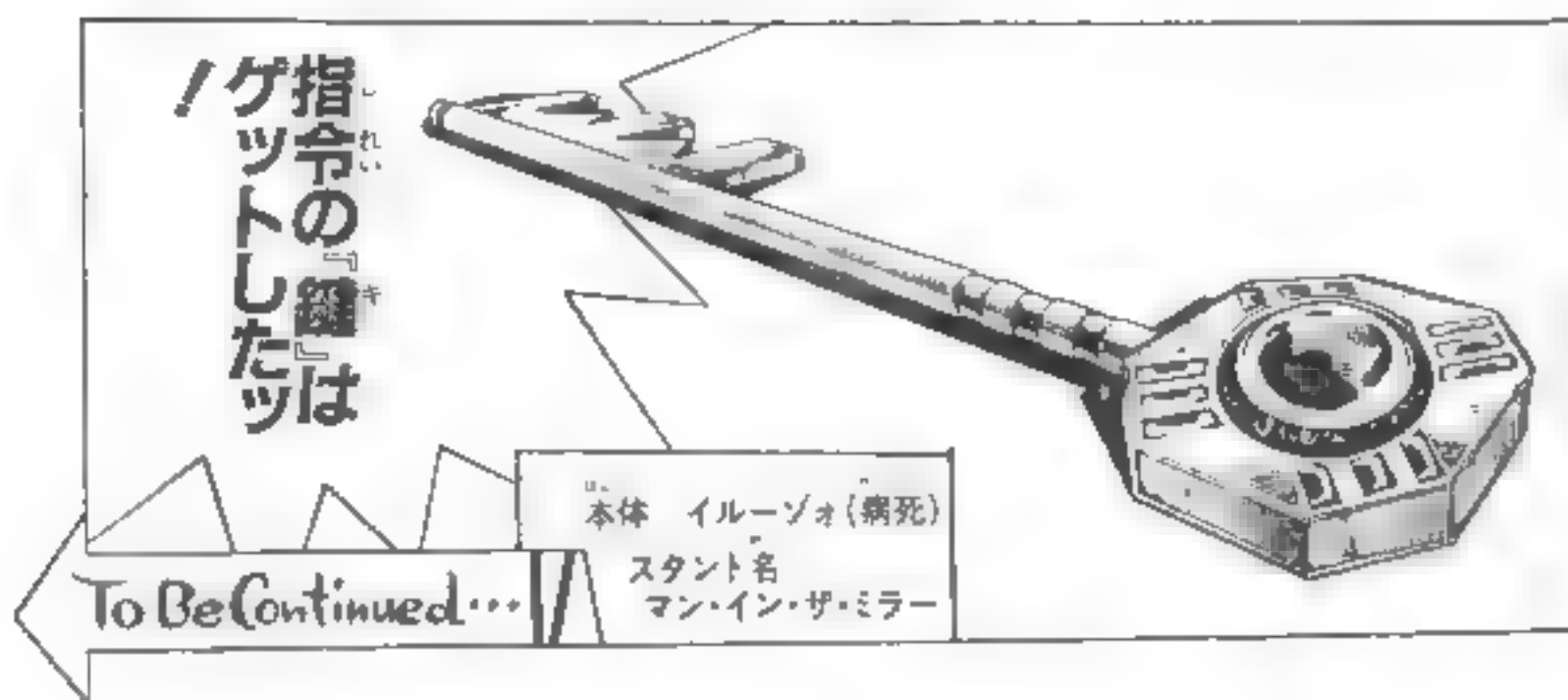
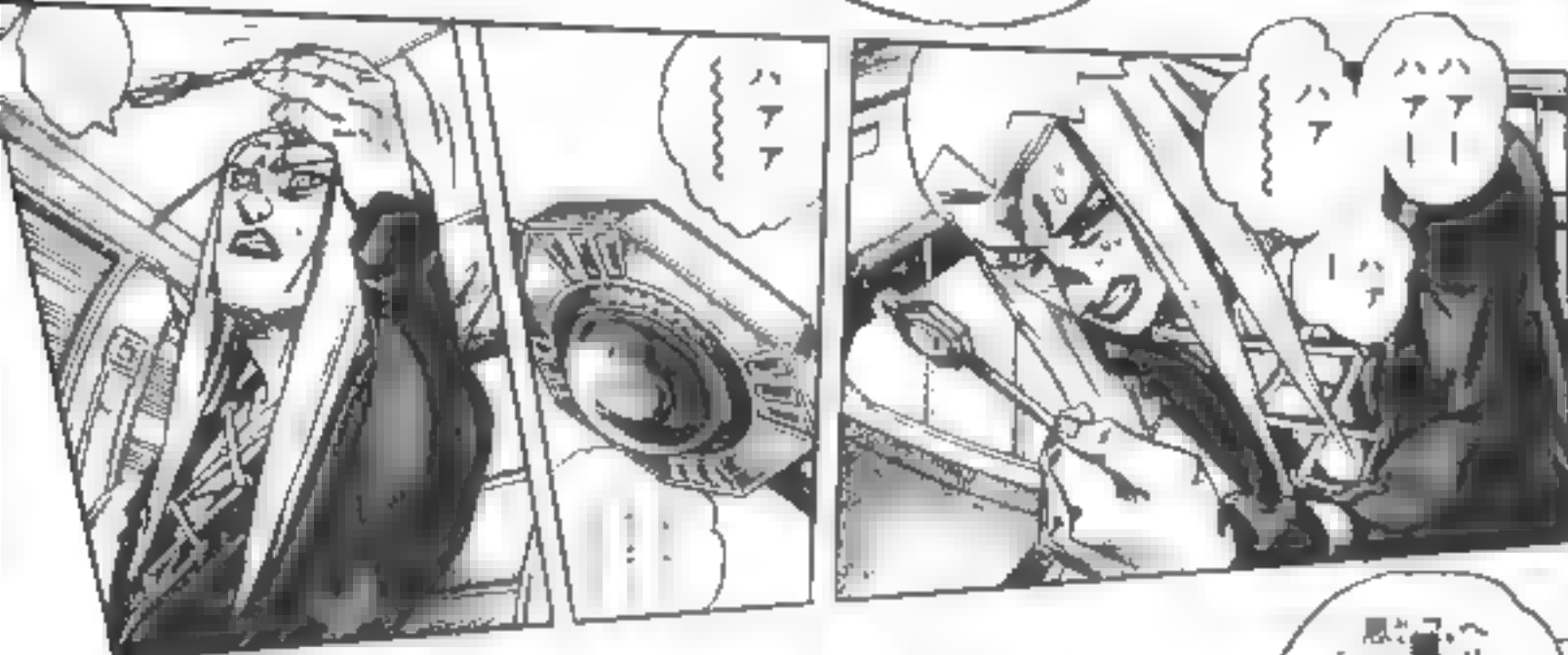
ブン殴ってやろうと思ったが…

手がこんなんじゃあそれもできねーか

いずれって事にしといてやるぜ

フィレンツェ行き超特急 その①

フィレンツェ行き
超特急 その①

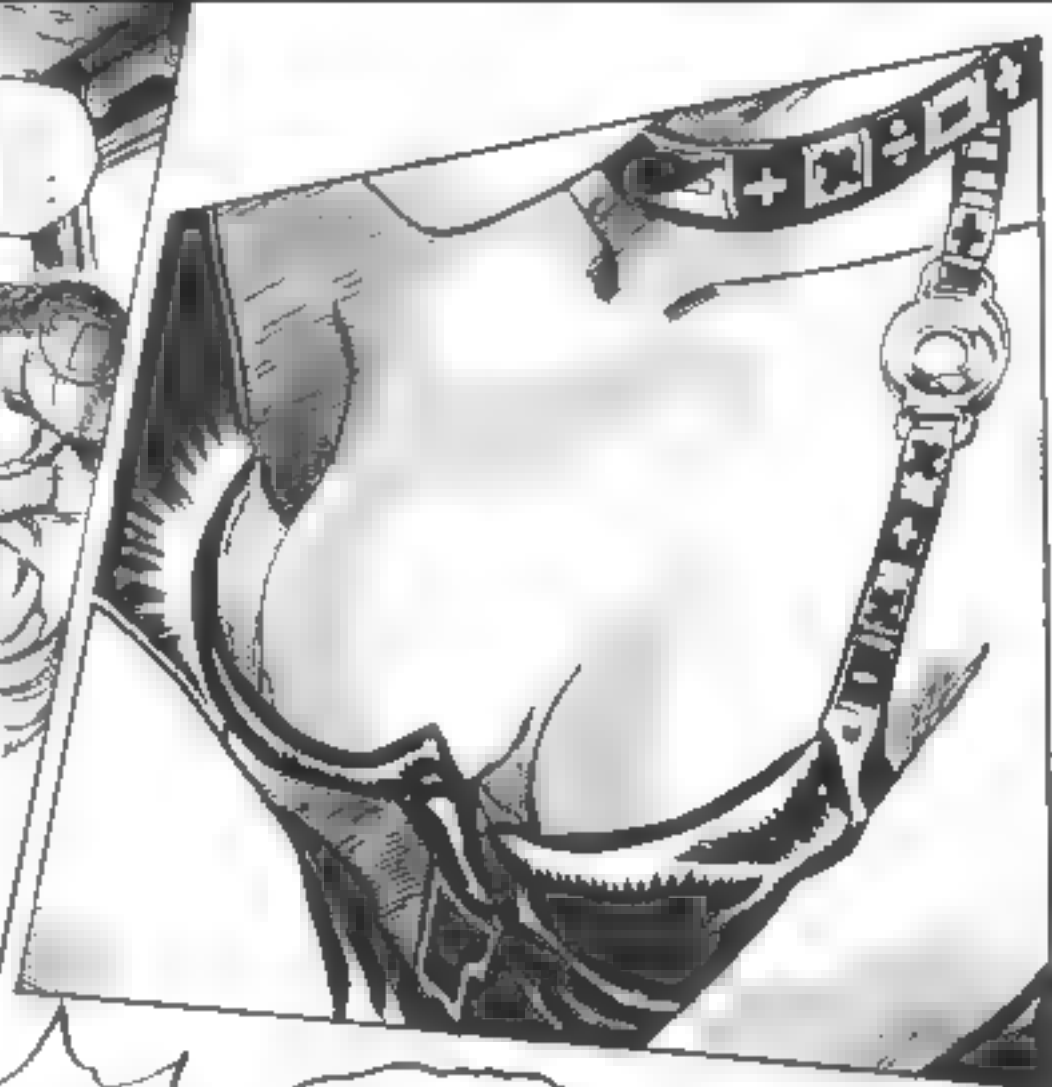
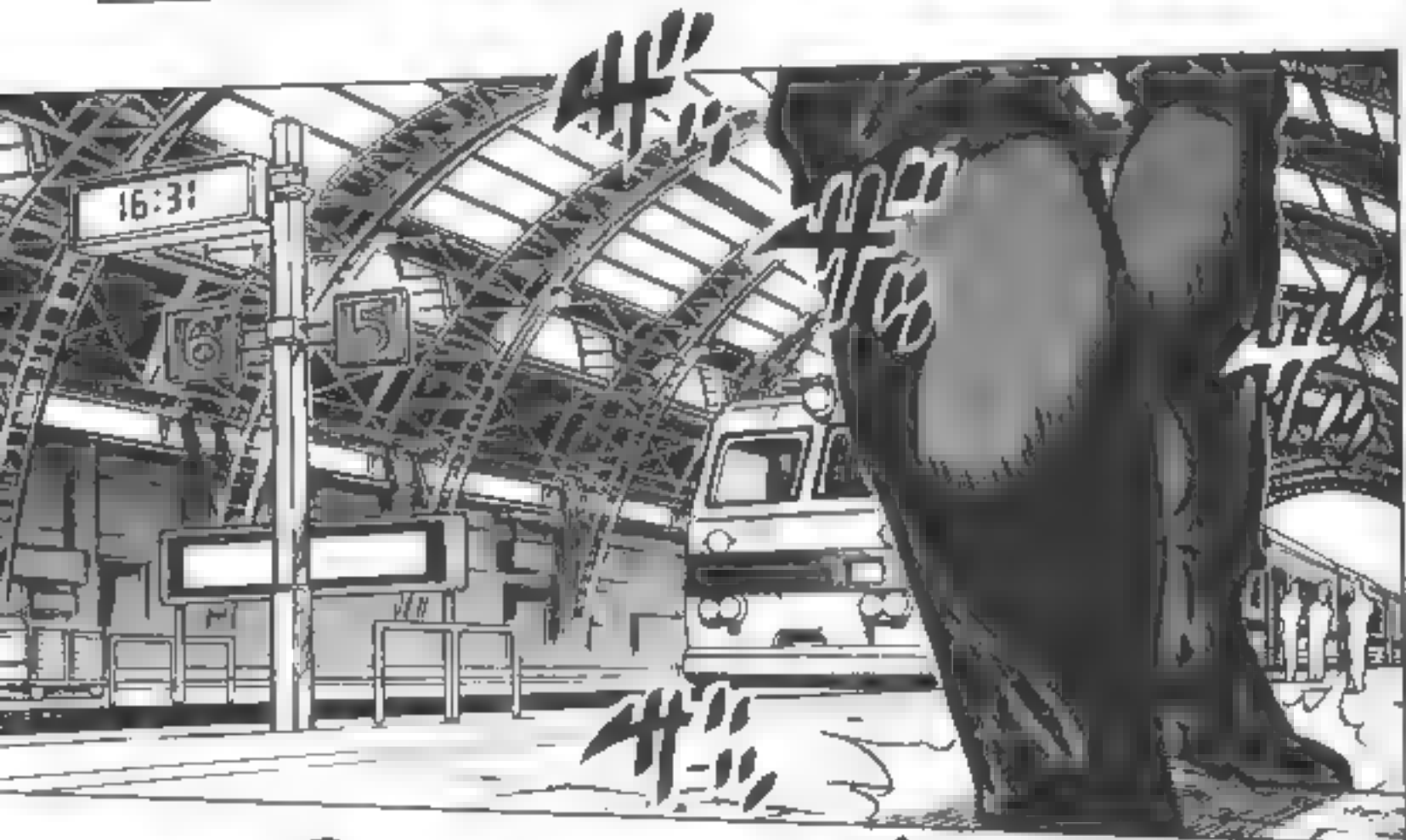
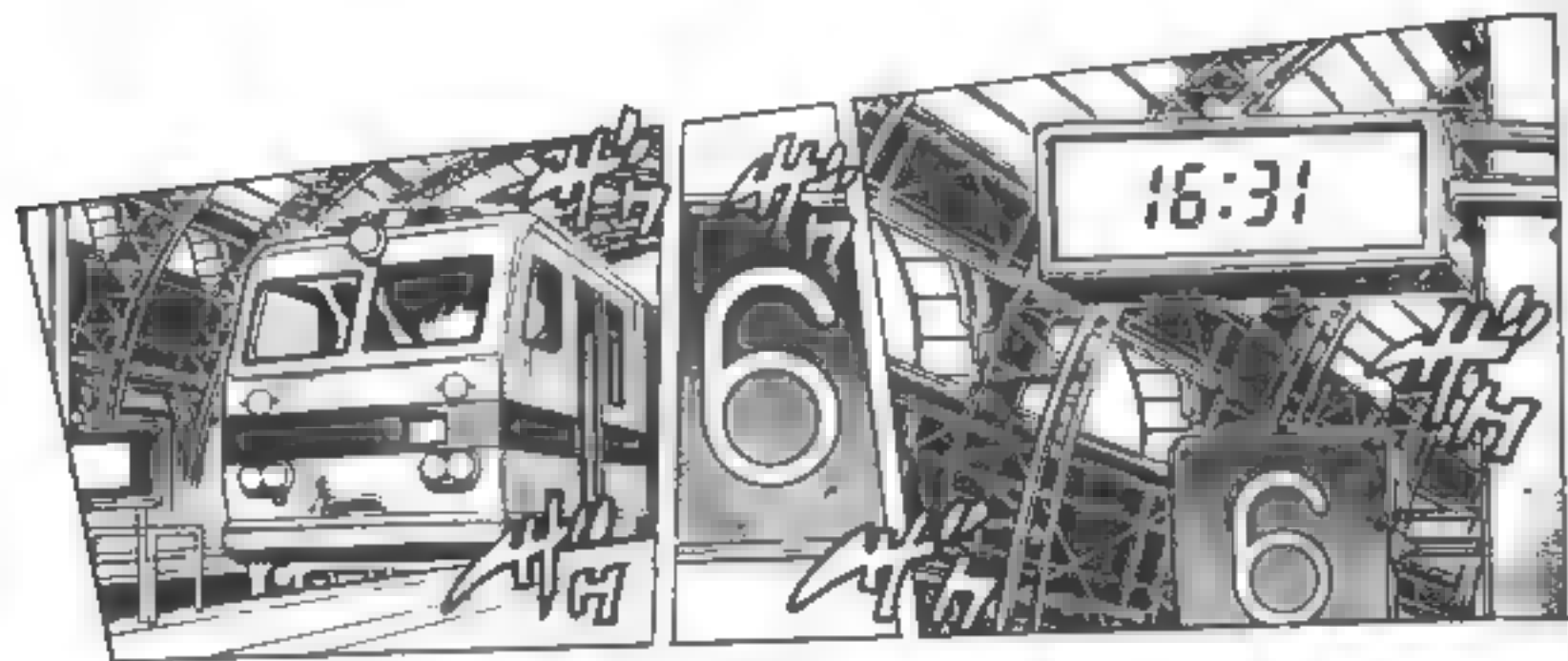
大げさだなあ〜〜〜〜
ちょっぴり片方より短くなったそうだ
それに痛みを感じるってのは治るって事……いい前兆で喜ぶ事じゃあないのよォ〜〜〜
一九九〇年にF1ドライバーの「A.ナニーニ」が事故で右腕を切断したんだけど医者がすぐ手当てしたら元どおりくっついたんだよ
復帰したんだよねブチャラティ
て　てめ〜〜〜〜っオレのは30分前の話なんだぜ治る治らね〜より痛え〜〜んだよ！まだちくしょうっ
ハアーハアーハア〜〜〜〜
ハアハア〜〜〜〜
ヘリコプターの「旅」だとばかり思っていたのに……
本当〜これ「列車」になんかに乗って大丈夫なのか……？
駅はやばいぜ……駅に行くのはよォ
娘を護っ
ネ

娘を護ってくれて礼を言う。
ブチャラティ。

ネアポリス駅6番ホームにある
『亀』のいる水飲み場へ行き
この『鍵』を使え。
そして列車にて娘を
ヴェネツィアまで連れてくる事。

追伸―君への指令は
ヴェネツィアにて終了する。

ボ…ボスは……
「ヴェネツィア」にいるのかな？そ…その文面によると……
………
そんな事は考えなくていい！
オレたちは指令どおりやるだけだ 6番ホームの水飲み場に行き…… そして列車に乗る！
………
今から最も早いのは「10分後のフィレンツェ行き特急」だ…… それに乗る！
ミスタ！もうすぐ駅だが背後はどうだ？
大丈夫
今のところ尾行はない……
だが駅はやばいぜ… カネをつかまされている駅員とか浮浪者どもがあっという間にオレたちの事を

ボスの娘！……
この「トリッシュ」……
会った事のない父親のため
自分の身を狙われて
いったい どんな気持ち
なのだろう……？
彼女 まったく感情を
見せないが……

それに
本当に「スタンド使い」
でも、あるのだろうか？
そんな雰囲気も
まったくないが……

あ……
ああ あれは～
だが やばいぜェ～～～ フーゴォ～～～ じっと見つめちゃあよォ～
ボスの娘だっ……!! 任務が終わったあとで「フーゴが毎日つかった」とか「フーゴにせまられた」とか ボスに告げ口されてみろッ
えッ!?
ギィ――!!
なっ何言ってんですかッ! ぼくは何もッ!
君が言ったからッ……!!
着いたぜ
あっ

うわああああ あああああ フーゴを ゆるして やってくださいッ
別に悪ギがあったわけじゃありません フーゴがブレーキーかこつけてあなたのオッパイのぞこーとかー
スカートの中の太モモさんに骨をはわせよーなんて事はついでき心でして はい!
とーか ボスにだけは内密に〜〜〜
おっ おい ヤメロ!
本当にズッこけたのにおまえが言うとヤバくなるじゃあないか!
ネアポリス駅構内
TRENI IN PARENZA
no entrado
ザワ ザワ
FIRENZE
ROMA
フィレンツェ行き
16 35発 6番ホーム

16:31
6
6
16:31
6
5

6
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ

本当にいたぜ ブチャラティだ……
先頭車のところの水飲み場にいる
他の仲間と娘はすでに列車に乗ってるようだ……1号車か
しかし信じらんねェェぜ～～すぐに見つかる駅に全員でくるとはなあ～～
ブッ殺してやるッ!!
どっちにしろブッ殺してやるッ!
「ホルマジオ」と「鏡のイルーゾォ」のかたきだッ!
チラリ
「駅に来る」
だが それは……よほど追いつめられてトチ狂ったか……それとも……
オレたちの追跡をかわす方法に「何らか」の自信があるという事か……どちらか……だな
おいオメー さっきから うるせえぞ 「ブッ殺す」「ブッ殺す」ってよォ～
どういうつもりだ てめー そういう言葉は オレたちの世界にはねーんだぜ そんな弱虫の使う言葉はな

『ブッ殺す』…そんな言葉は使う必要がねーんだ
なぜならオレやオレたちの仲間はその言葉を頭の中に思い浮かべた時には！
実際に相手を殺っちまってもうすでに終わってるからだッ！
だから使った事がねェ――ッ
ペッシオマエもそうなるよなァ
オレたちの仲間なら…わかるか？オレの言ってる事…え？
あ…
ああ！わかったよ兄貴
『ブッ殺した』なら使ってもいいッ！
オレはこのままホームから向かうから…
ペッシおまえは列車の中から1号車に向かえ
あう。

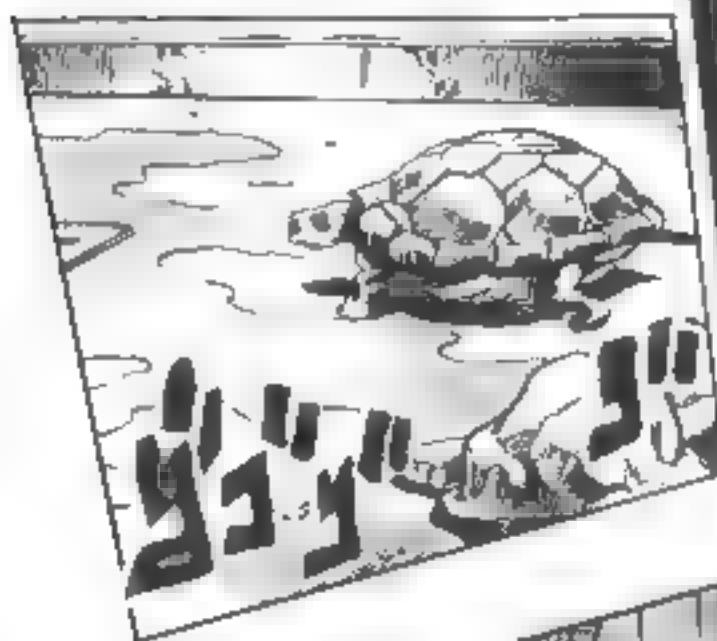
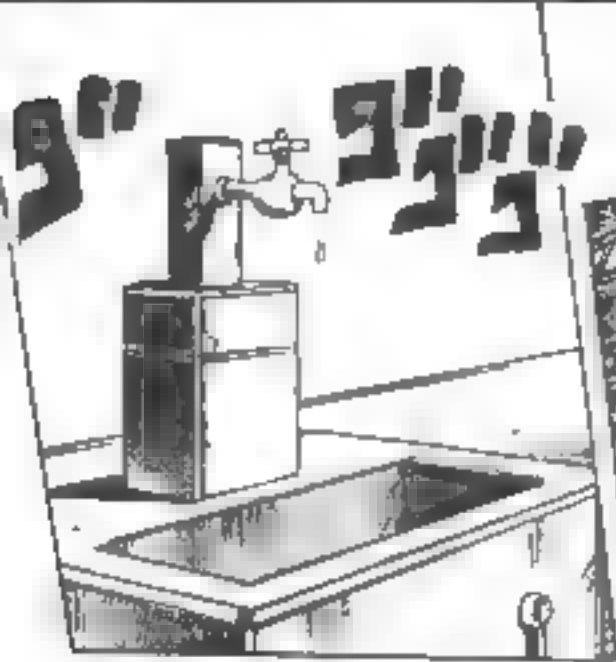
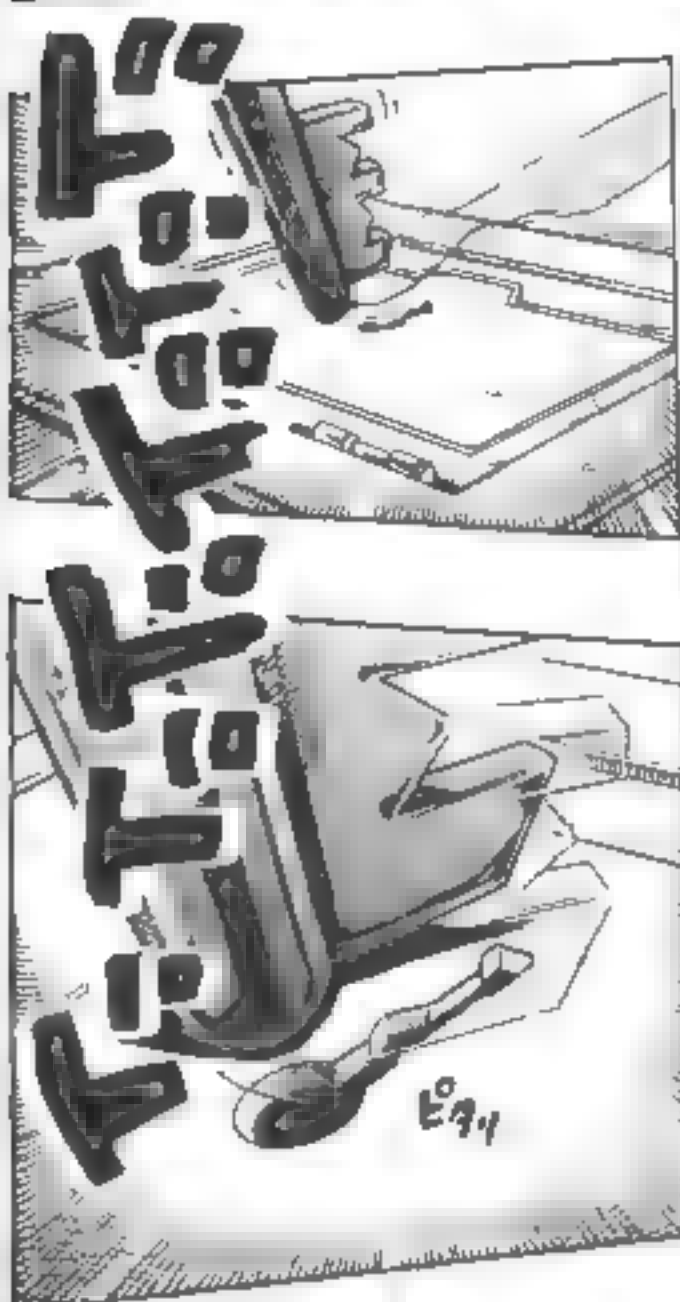
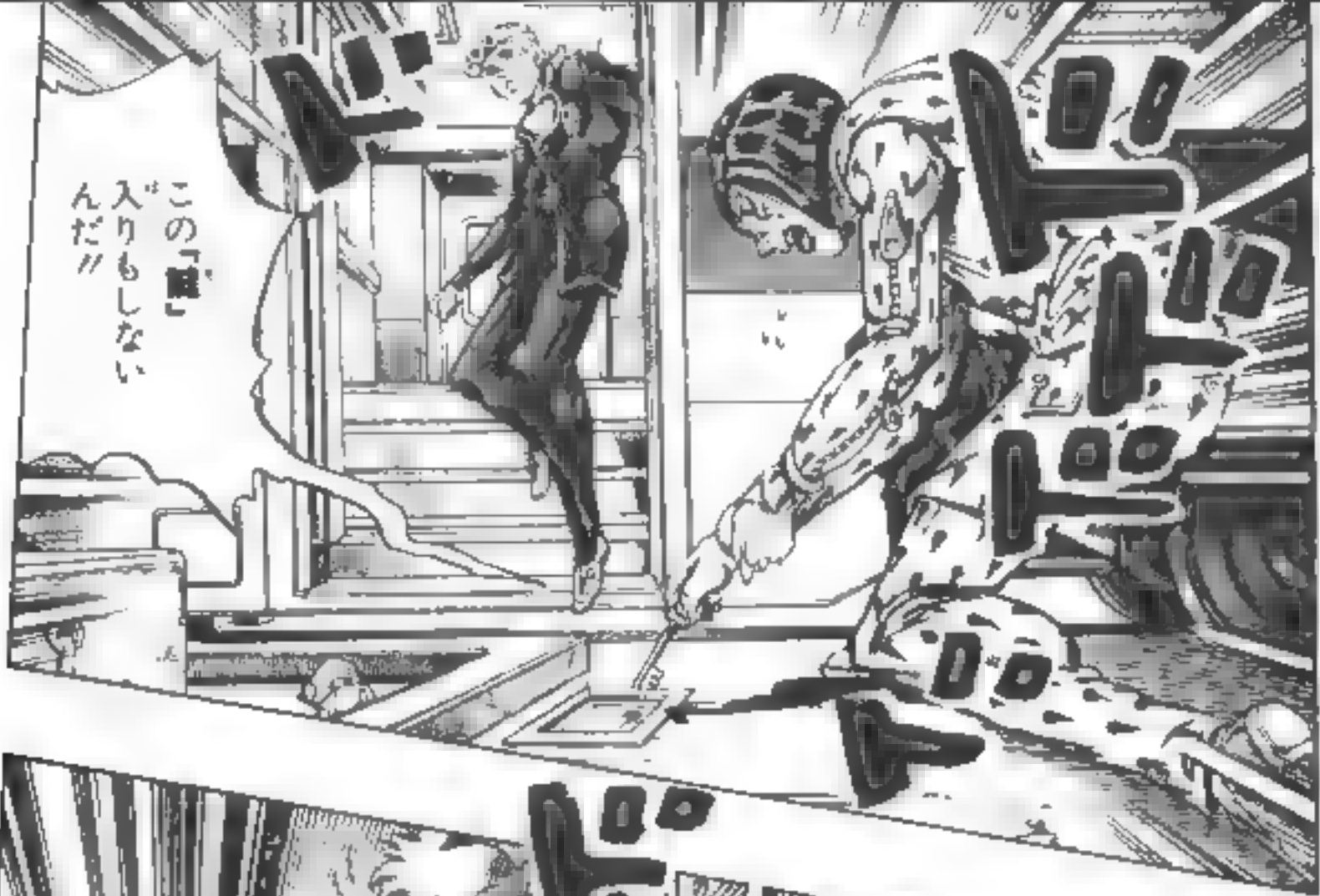
はさみ撃ちだッ！！
「娘」は生け捕りだからな……
発車前に終わらせたい
切符を買わず済むからな

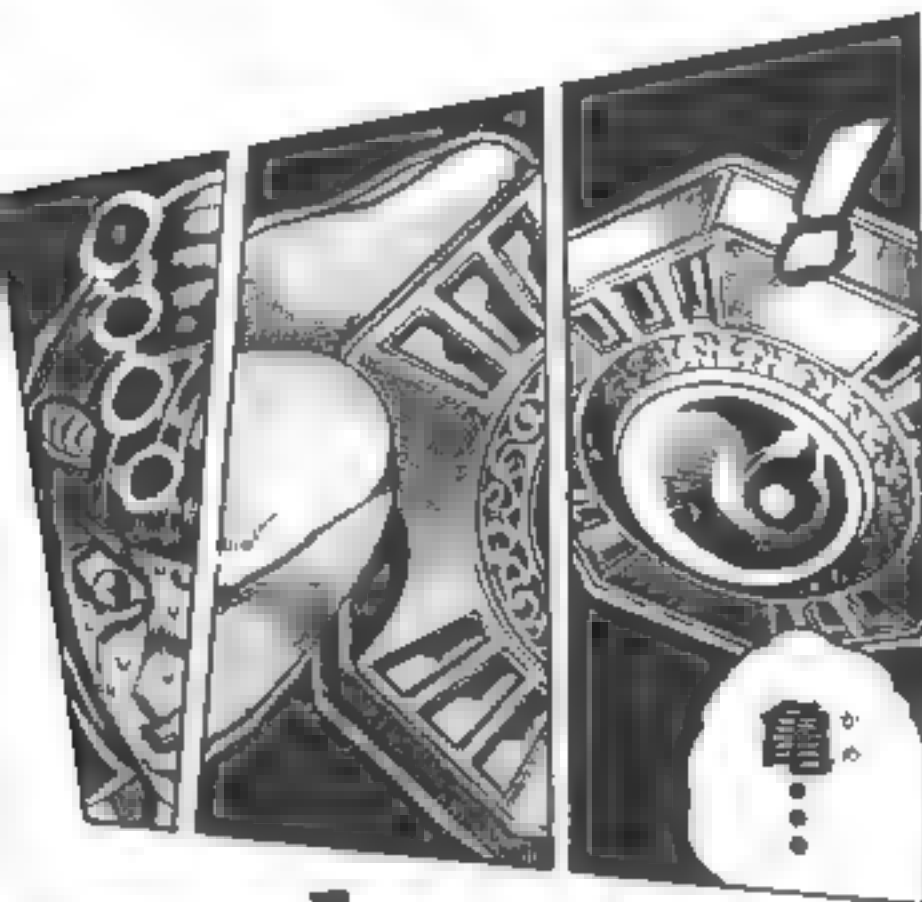
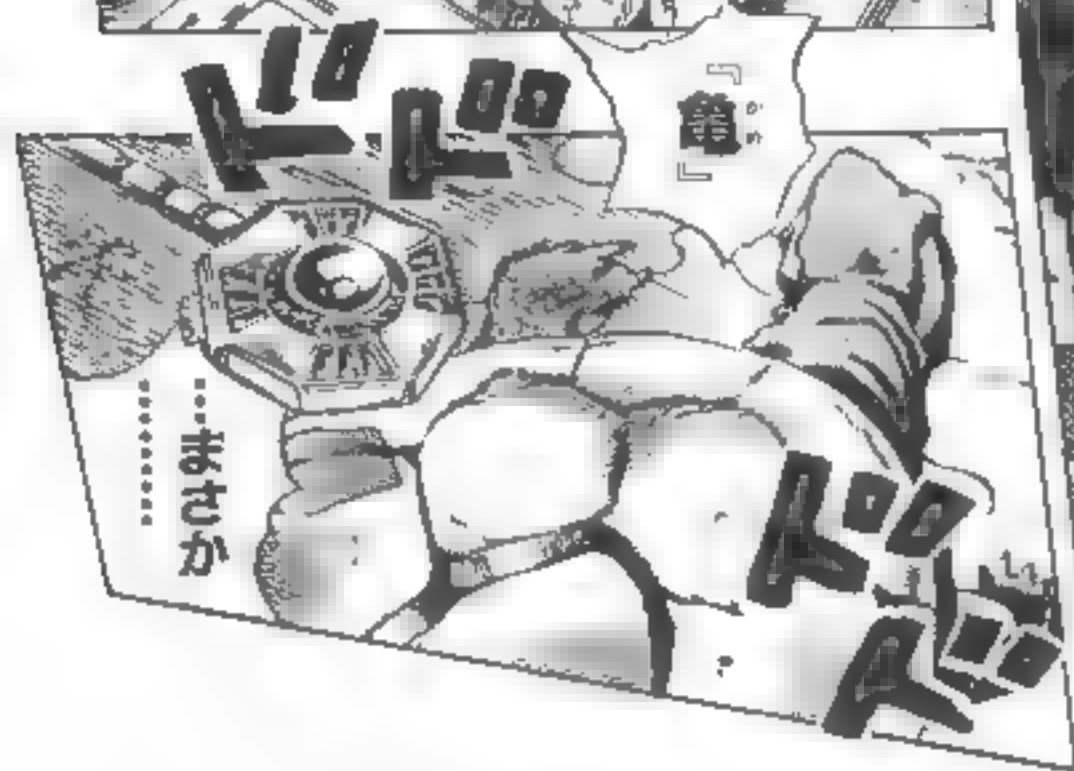
ブチャラティ
そろそろ
発車の時刻
です……
そろそろ
乗らないと
わかってる……

ジョルノ…… おまえも
先に トリッシュの
ところへ行って
彼女を護れ……

どうかしたん
ですか……？
「鍵」を使って
中から取り出す
だけじゃあ
ないですか…

『ホームの
水飲み場』
……
他にないよな
……
水飲み場にある
カギ穴なんて
他にはないよな
……ジョルノ
ちがうんだ
これじゃあ
ないんだ
このカギ穴じゃあ
ないんだ

ピタリ

ドドドドド
この「鍵」は入りもしないんだ!!
ドドドド
ドドドドド
しかも「鍵」をさし込むも何もッ!
このフタ
カギなんて
最初から
かかっていないんだッ!
ただの
元栓だッ!

その消火栓の錠前では？
すでにやってみた……
違うッ！ぜんぜん違う形だッ！
ないんだッ!!
この「鍵」に合う錠とか扉なんてものは……!!
この「水飲み場」にはないんだッ！いったい何なんだッ！この「鍵」でどこを開けて何をとり出せばいいんだッ！
ブチャラティひと列車遅らせますか……？
次の列車は15分後のローマ行きですが…
だめだッ！敵の誰かがそろそろ情報をつかんでこの駅にくるころだッ！一刻も早くここを去らねばッ！

「6番目」！
「亀のいる水飲み場」
確かにここに
間違いないのにーッ！
くそっ
いったいッ!?
ドドドドド
！
亀…
ゴゴゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴゴ
「亀」
ドドドド
…まさか
………

同じ形があるぞ!!
この八角形
亀の甲らの形と……
こ…この
「鍵」は
カギ穴を
探すん
じゃあない
「甲ら」だっ!
なぜかわからんが…
この亀のッ……!
甲らに
『鍵そのもの』を
はめ込むんだッ!
はまったッ!!

!!
うっ⁉
なっ……
な…何だ⁉
こ…この「亀」はッ!!
め……
めり込むッ⁉
（ま…まさか この亀
「スタンド使い」）⁉

ヴェネツィア
フィレンツェ
ROMA
ネアポリス
ITALY
ポンペイ
THE AMALFI COAST

ドドドド
ドドドド
ドドドド
フィレンツェ行き超特急
その②

ドドドド
フィレンツェ行き
超特急
その②
ムッ！

ドドドドドドドドドドドド

ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ

ダパアアアアアアァァァ!!!

ガッ

ダッ

……!!

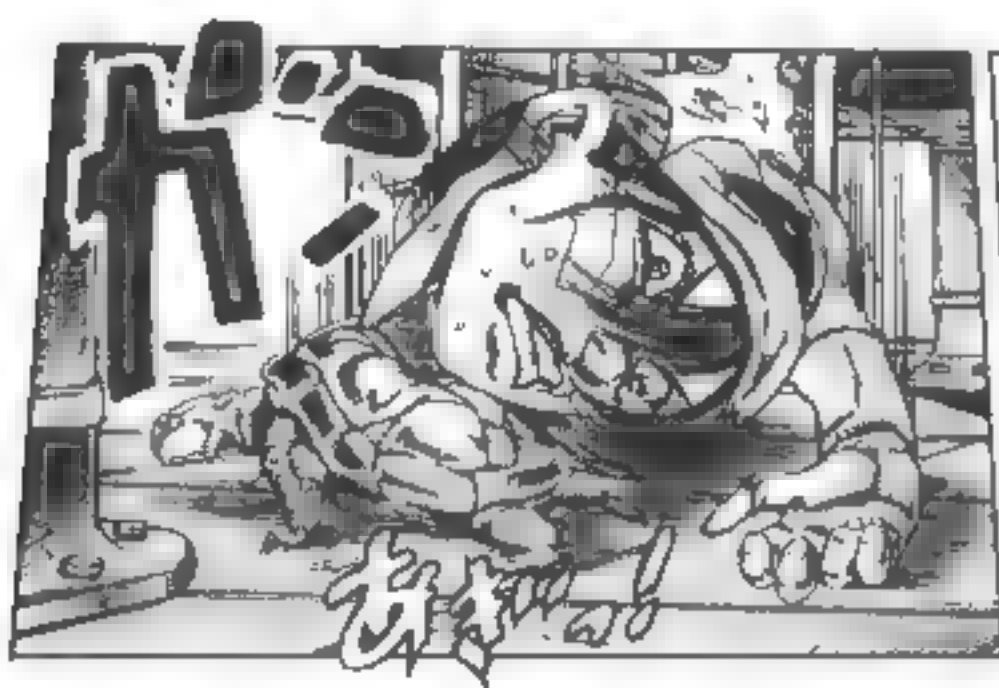
あ…
……
ザッ
ザッ
おい ペッシ
なんでオメーと出会うんだ？
あ 兄貴こそですぜッ！
……
チラッ
どうしたってんですか？
水飲み場にいた「ブチャラティ」はとこ行ったんですか？

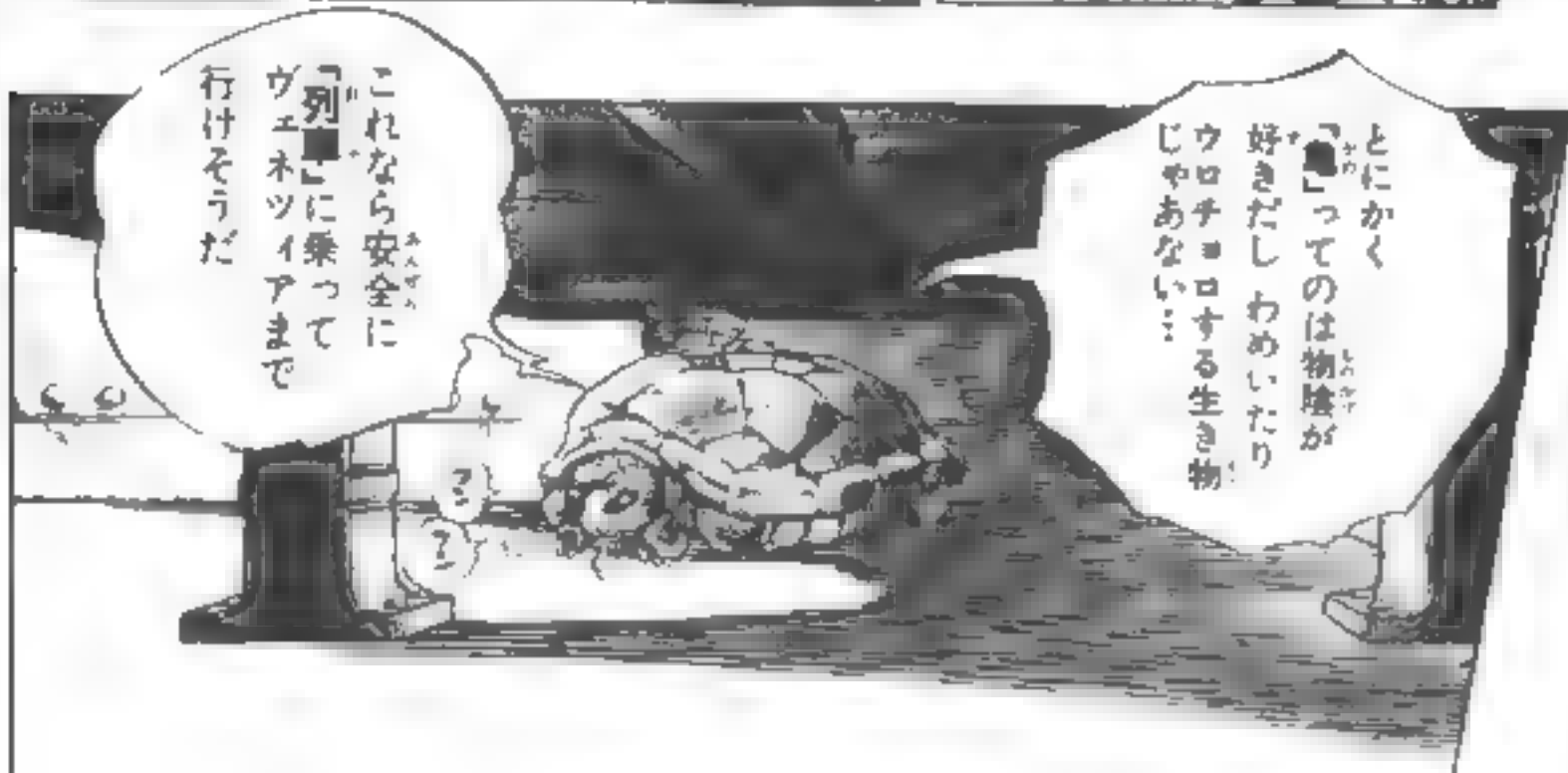
ガチャア
バン
ガチャ
ガチャ
おめ～～～
ブチャラティの顔知ってるよなァァ ペッシ～～っっ
アバッキオとかミスタ フーゴ ナランチャ 新入りにジョルノとかいう小僧も入ったそうだが そいつら全員知ってるよな オメーョ
いくら兄貴でも その質問 失礼じゃあ ないですかい？

やつらの経歴と顔なら写真に穴の開くほど見てきまぁ〜〜〜っ!!
じゃあ説明すんのは簡単ってわけだ……
今 オレの目の前でブチャラティがホームから列車に飛び乗った!
通路から来たオメーと出会ってなきゃあおかしいよな・・・え?そうじゃあねーか?
乗客の顔は全員よく見て来たのか?サングラスとかヒゲで変装してる風なやつらはいなかったか?
だから見て来ましたってッ!!
誰ともすれちがわなかったし!
他のヤツらも新入りも誰も絶対どこにもいやしませんでしたぜッ——っ
のそっ
のそっ
のそっ
のそっ
のそっ
のそっ

ズイ
ズイ
ズズ

な…なんなんだ!?
こ…ここは!?
水飲み場にいたこの「亀」!スタンド使いだったッ!
そしてここはどうやら亀の中のようだ
どういう仕組みになっているのかわからんが「あの鍵」が亀の甲らにはまると亀はなぜか能力を発現させて……
その「鍵」が出入り口となってこの空間を作り出し中に隠れられるらしいッ!!

か…亀がスタンド使い
い…
いで…
と…どこだ？イスの下か？
うおっ

でっ…でもカッケいいいいィ
宇宙船みてーな「亀」だなあー
「スタンド使い」の亀…
しかし…この部屋 幻覚とかではない 本物の部屋ですよ これ、ソファーとか家具も本物だ
冷蔵庫の中も飲み物が冷えてるぜ・

ギギ
……
ゴトゴト
兄貴……
ゴトゴト
……
この列車発車の時間だ
動き始めてますぜ
今も客席を見て来たように乗客の中にはヤツらはいなかったでしょう…？
きっとこの駅のどこかに隠れて
尾行とかの様子を見てから適当な列車に乗って逃げるつもりなんだ
浮浪者とか使って駅内を探させましょうぜッ！
……
ゴトン
ゴトン

「水飲み場」……
遠くからでよく見えなかったが
水飲み場に「何か」が
おいてあった
黒っぽい
「何か」だった
……
それが今
ない
ブチャラティは
しゃがんで
何かをしていた
拾ったんだ
ヤツは水飲み場で
「何かを拾った」ッ
兄貴！
列車が動き
始めてますってッ
！
うるせーなッ！
おまえが列車に
乗れッ！
え？
えっ!? 何でェ
——ッ!?
何で
です？
何で
列車に
のるの？
オレの
「勘」だ！
気がする
ですって！
気が？
ブチャラティたちは
どうやってかは わからんが
この列車のどこかに
いるような気がするッ！
いいから
乗れっつってん
だよッ！
ペッシ！

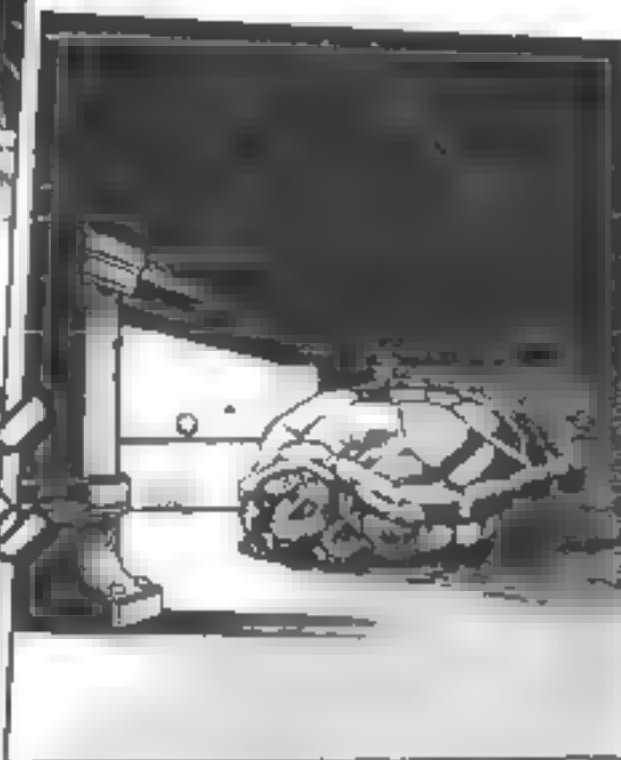
それにさっきも言ったようにブチャラティたちは列車で移動しても大丈夫って「自信」があるから駅に来たんだ…
それはオレたちの尾行をかわす自信ではなくて
ゴトン
きっとボスが何かの方法で手助けしているんだ……！
今この列車をオレたちが調べなかったら
オレたちはヤツらをこのまま永久に見失ってしまう気がする！
ゴトン
ゴトン
あーあ 乗っちゃった♪
切符買いたくないって言ったくせに
おい この壁の下のスキ間……
ゴトン
うるせーぞ
向こう側は何だ？これ？
ゴトン
ゴトン
ゴトン
ゴトン
壁じゃあなくて運転室のドアじゃあないですかね それ！
わかんねーぞ……
ゴトン
この列車 探すって決めたからにゃあよォ～～～～
先っちょから尾っぽまで徹底的に荒らしまくってやるからな！
でもこっちからは開かねーし 7人からの人間が運転室に入ってるわけはねーっすよォ
おめーの「ビーチ・ボーイ」で中を攻撃してみろ！
ゴトン

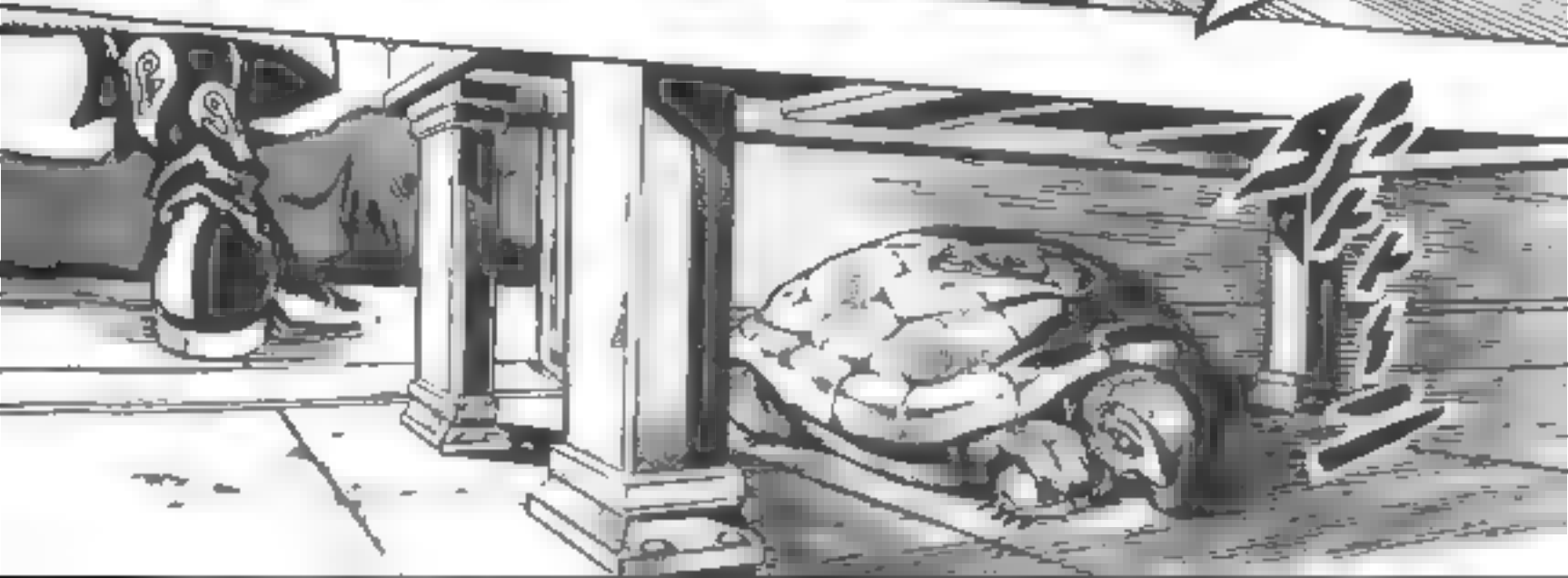
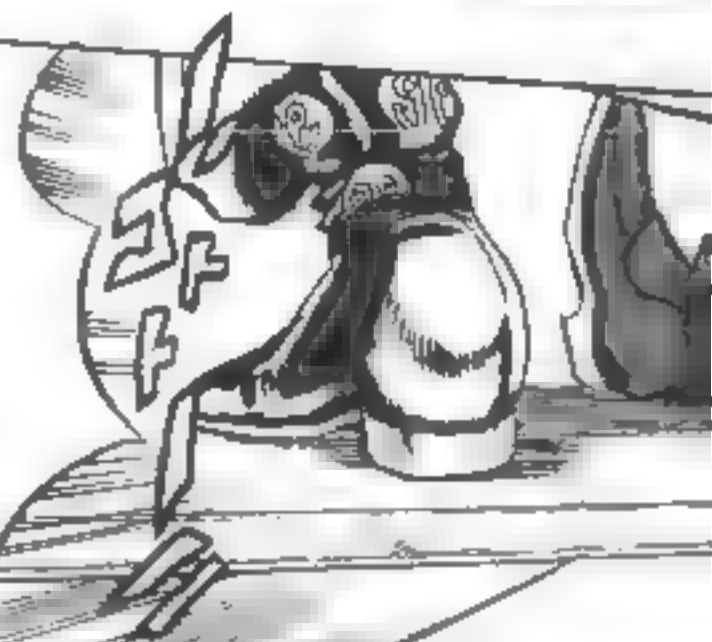
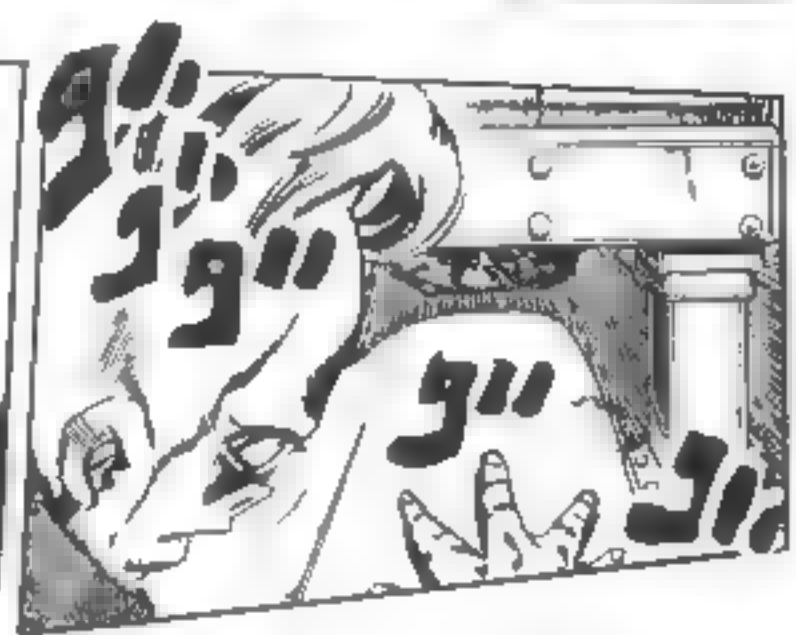
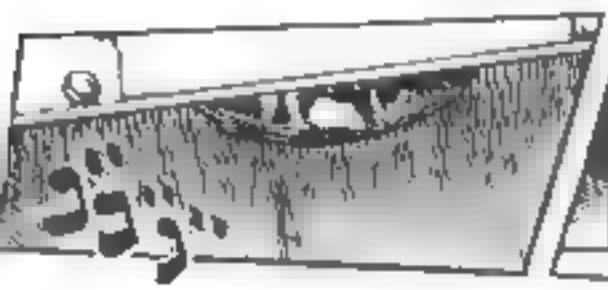
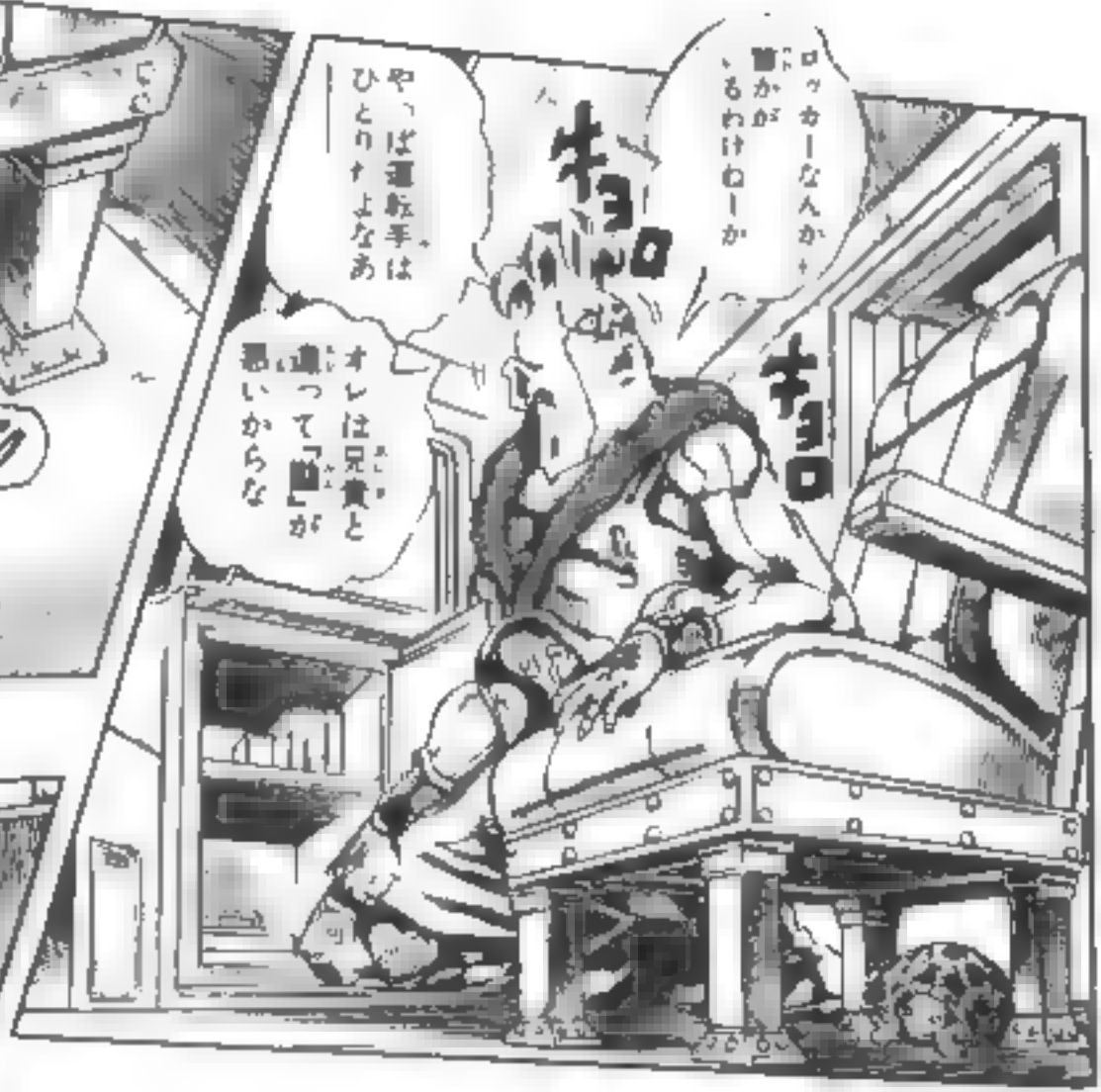
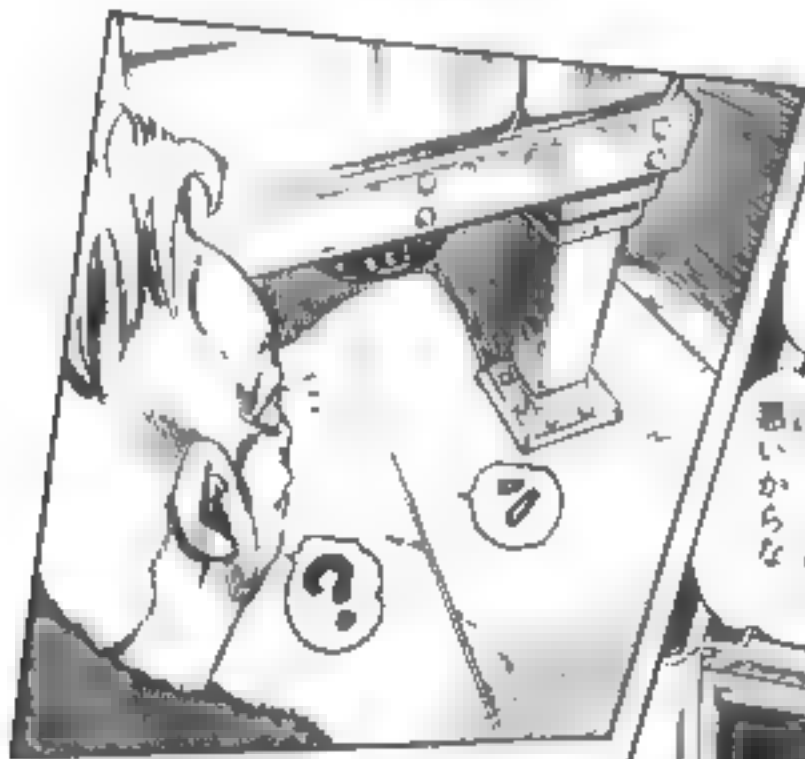
………
ドクン
ゴトン
ゴトン
ドクン
W.C.
やれッ！

『ビーチ・ボーイッ』!!
BEACH BOY

チリ…
チリ…

やっぱり1人もいないよ
この中にいるのは…
2人だ
きたッ！

…！
くそ？ たしかに狭いな
運転手ひとりか だが この列車のどこかに 絶対やつらはいる！
え？
あれ？ ちょっと待てよ おかしいですぜ… 「2人」だと思ったんだけどな
ひとりしかいない？
ほんとひとり？ 生き物の気配は「2つ」のはずだったんですぜ…
ゴトン
ゴトン
ゴトン
ゴゴゴゴ
フィレンツェまでの所用時間 3時間30分
次の停車駅ローマまで ノンストップ （1時間半）

偉大なる死（ザ・グレイトフル・デッド）その①

おい ペッシッ!
この列車を「先っちょ」から「ケツ」までとことんやるぜッ!

どっかに潜んでいる
ブチャラティどもを
ひきずり出してやるッ！
おまえは「運転室」に
いろッ！
ヤツらは
「娘」をかかえているッ！
この列車内を
おいそれと動き回ったり
または「娘」を連れて飛びおりたりッ！
簡単にはできなくなる！ それが
これからオレたちの有利な点だッ！
ヤツらは
オレたちの存在に
まだ気づいていないと思うが
……
もし気づいたら
この列車を止めに来るかも
しれないからなッ！
列車を高速で
突っ走らせてろよォ！
〜〜〜〜ッ！
ローマまでには
ヤツらを皆殺しにして
「娘」をゲットするッ！

ちょ…
ちょっと待ってくれ兄貴……

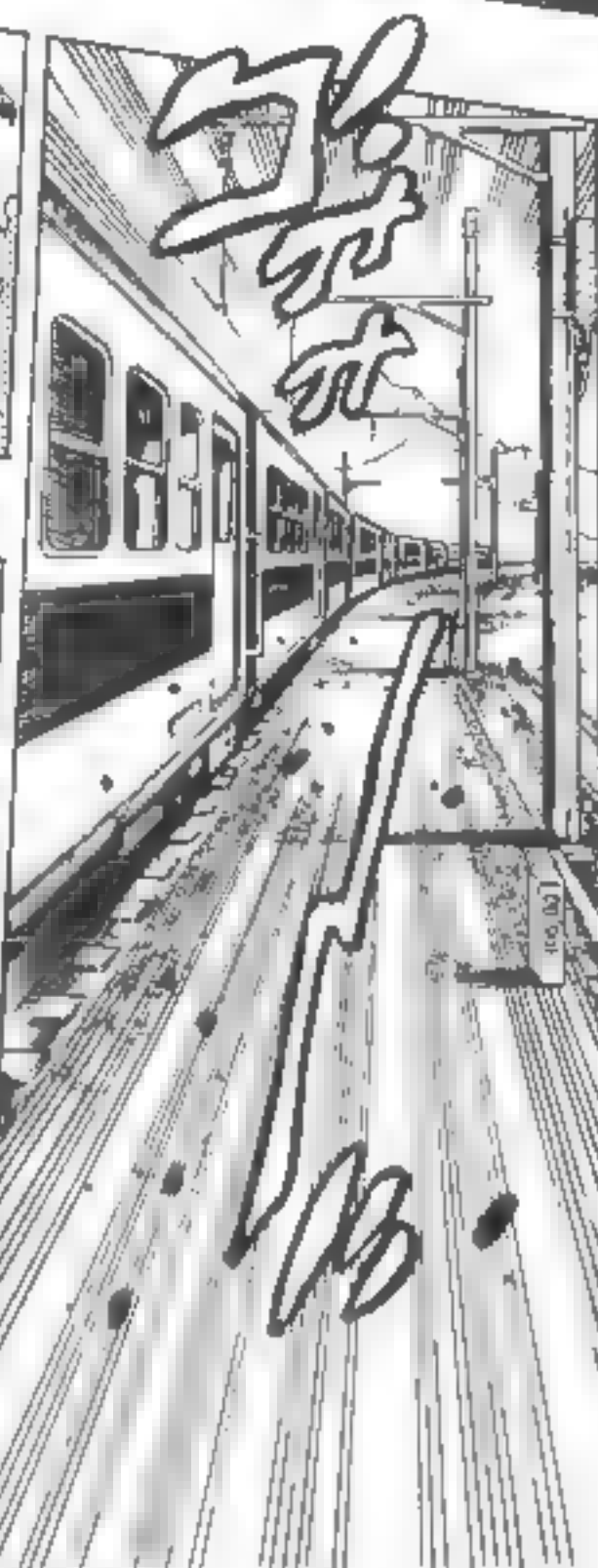
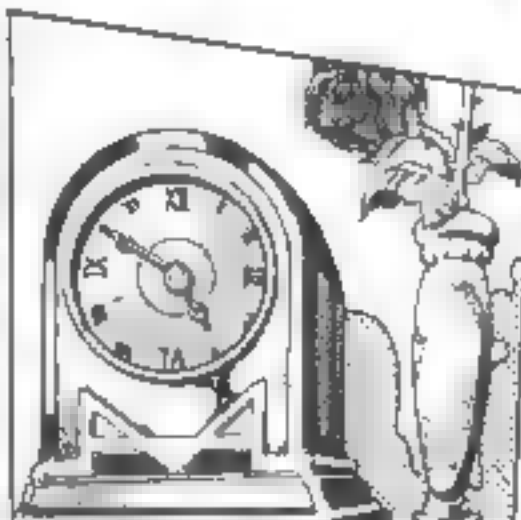
ロッカーなんか置いてあるわけねーか
キョロ
キョロ
やっぱ運転手はひとりだよなあ
オレは兄貴と違って「鼻」が悪いからな
？
…
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
……………？あの黒っぽいものは？
ゴゴゴ
？
なんだ？

うわあああ！
あ…兄貴ィ!!!
ま…まさかッ！

ドドドドドド
ドドドド

『ザ・グレイトフル・デッドッ!』
ちょっ!ちょっと待ってくださいよッ!
や やるんですかい!?
乗客ごと・・・やるつもりですかい!しかも ヤツらがまだ確実に列車内にいるってわかってもいないのに!
言っただろうがよォーー
・・・トコトンやるってな!ヤツらは絶対いるッ!

それに
たいしたこたアねーだろォーッ
毎年 世界中のどっかで旅客機が
墜落している…
それよりは
軽く済むッ！
ドドド
ドドドドド

なんか「■」の中の「部■」のせいか
ちょっと蒸すな…
ナランチャ
おまえも
何か飲むか？
冷たいのしか
ないけどよ
コーラ
ミネラルウォーター
ガス入り
ガスなし
アップル
ジュース
オレンジ
ジュース
パイナップル
ジュース

え？なんですかァ――？
なんか飲むのかって聞いてんだ――ッ！
それに、おまえも少し休んだらどうだ疲れた顔してるぜ
異常は何もねーと思うが…「天井」はオレが見張ってっからよ！オレぜんぜん疲れてねーから！
おい聞いてんのか？
そうかい
なんか急に肩がこったんだよなあ――腰もいてーし
トッコイしょ！
なんかあったかいのがいいなあ胃にやさしいの
じゃバナナでいいや
ポキ
だから冷てーのしかねーっつってるだろ
TV
GAME
AUTO MOBIL
庭

はあああ
ああああ〜〜〜
ため息、
でるなあああ
こういう
「庭」
はっと
するううう
美しい
こーゆー庭で
日なたぼっこしながら
子供時代のこと
思い出して
ノスタルジイー
ひたりたいなあ〜〜〜
はあああ
あああ〜〜〜
はあ〜〜〜
おい
やめろよ
指ィつばつけて
めくったら
バッちいじゃあねーか
あとから
オレも
読むんだからよ
え？
そんなこと
してたァ
このオレが？
うそォ〜〜〜！

……
おい おまえ
せきしながら
何か口から出してんだよ
何か…
たれているぞ…
気もち
悪いなあ〜〜〜
なんだ…
それ？
口から
たれてんの
何だ？
それ おい!?
歯…

なんか このバナナ 食えないよ〜〜〜
コホッ
ひからびてて きあぁ〜〜
コチコチに固いんだよォ
なあ〜んだッ! なにかの冗談かよォ オメー
ハハハ ビックリするぜ!
でも あんまり 笑えねえよォ オメー
ちょっと気もち悪くって 今いち笑えねえ
え?
またなんか 言ったかい? ミスタ
小さいんだよ 声がああ あああ
よく 聞こえなかったんだけどさあああ ああああああ
ドドドド

だからさあ〜〜〜〜〜このバナナ
ボロボロなんだってばああああああ
く…
くっ
食えないよオ〜〜〜〜〜これ…………ひっ…ひっ
な……!?なんだおまえッ!!
ぜんぶ
ひからびちゃってるモン……こ…ここのフルゥーツ
なんかおまえの顔おかしいぞッ!

!
な…
ナランチャおまえッ!
よく聞こえなかったかい?
じゃあね――ッ
もう一ぺん大きい声で言うね…!!
いいですかあああ――
バナナが食えたもんじゃあないんだってばあああああ
ほら! ボソボソにくずれるんだよォ――ッ
古いんだよ コレ!
ブチャラティッ!
わかってるッ!

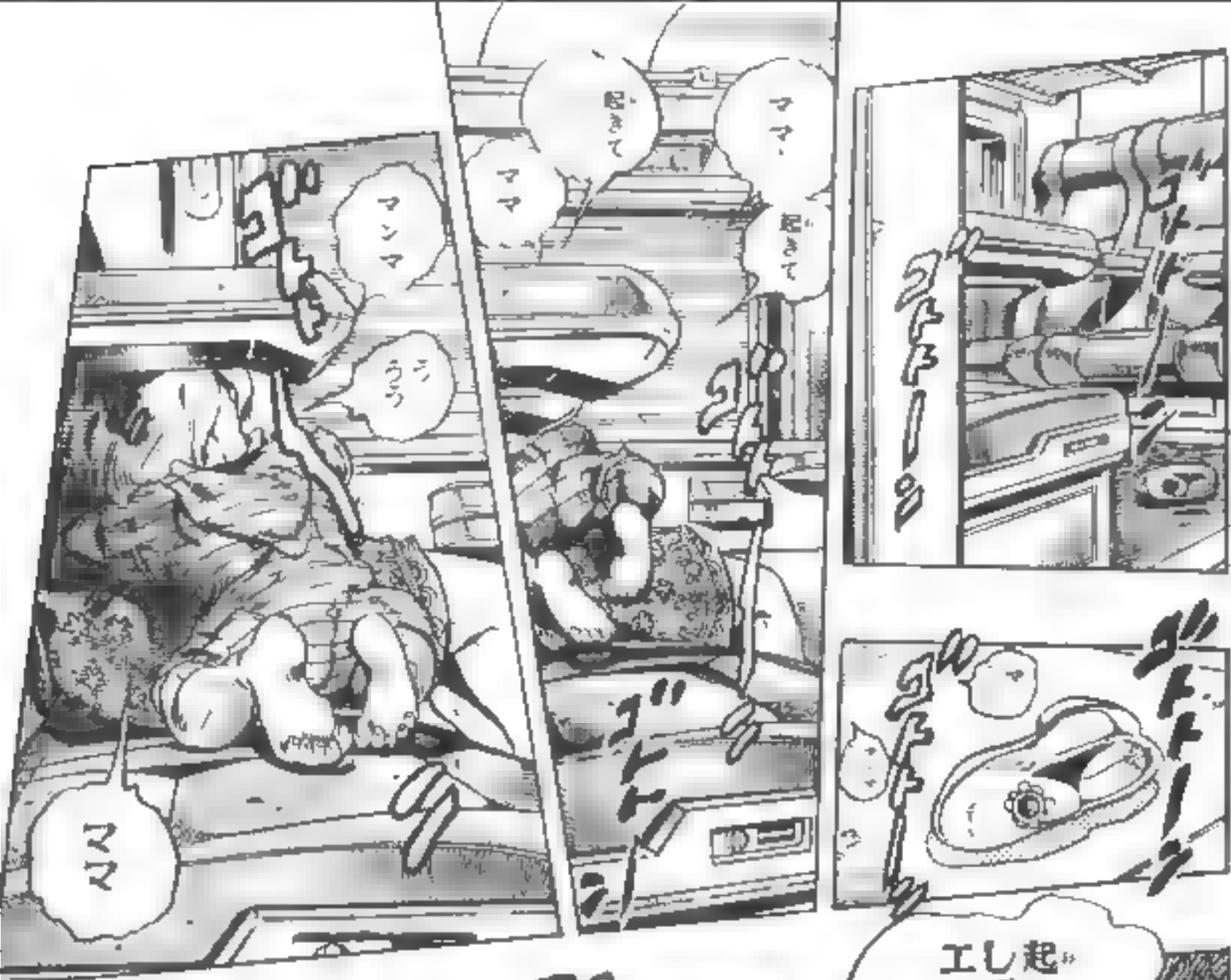
なに？
なんだこの白いのは⁉
この…ぼくの顔から
とれてきたぞ
何よーッこれエー？
「スタンド攻撃」だっ……………⁉
て…「敵」がいるのかッ！
この列車の中にッ！
オレたちを追って来ているのか‼
うむ
ずいぶんと騒がしいですね…
どうしたんです？
何か………あったんですか……？

と…

年をとっている…!!

ゴゴゴゴ

ママ、
起きて
起きて
ママ
マンマ
ママ
起っきイイイしてエエエエエエエ
ママぁあああああああああ

偉大なる死(ザ・グレイトフル・デッド) その②

だ……誰なんだよ……
こ…これーっ誰？
う…うそ！
うそだッ！こ…これま…まさかッ！
これがオレかああああああ
どおおおなっちまってんだよオオーーー

偉大なる死
その②

お
ドドドド
『老いさせるスタンド』
こ……このまま……どんどん老いていったら……
ドドドド
ジョ……
ジョルノ アバッキオ フーゴまでッ！
バレちまったのかッ！ この「亀」の中にいるって事が よォォォーーーッ
落ちつけ ミスタ！ まだ ここがバレてるわけではない！
眠ってる者は起こさなくて……

もし
この「亀」のことがバレてしまっているのなら
敵は
亀を殺すとか
オレたちを亀から引きずり出すとか
そういう積極的な攻撃をしているはずだ／
それをしないってことはまだ見つかっていないっていうことだッ！
たぶんこの敵は「オレたちがこの列車のどこかに乗り込んだ」という事だけを知り……！
そして『彼女』を探し出すために列車全体を無差別に攻撃してけるんだ／
乗客全員を巻き込んで
この列車は突っ走っているってことか⁉
たぶんな……〃
ヤツらも必死だ／なんだってやるだろうさ！
しかも平然とな

こうなってくると
とるべき選択は
2つある！

①――彼女を
連れて
この列車を
脱出する

②――この
射程距離の
わからん敵を
先に探し出して
始末する！

当然
②だろう

彼女を連れて
脱出するには
列車を止めねば
ならない……
危険が多すぎる

暗殺のほうが確実だ
……………

おれの
『セックス・ピストルズ』での
暗殺のほうがな……
……………

確かに…
そのとおりか
……

しかし
時間は
ないぞ
……

ものスゴイ
スピードで
年をとっていく

フ…
ブチャラティ
て…
手が…
お…
おれの
指が…
ボキ
ボキ
ボキ…!
ボ…
ボロボロに
なっていくん
だァ
アアア
アア
く…
崩れて
いくんだァ
アアア
指に
血が通って
いない!
痛くも
ないッ!

崩れていくんだァァアアーッ
手の骨があああああ——
これが年をとっていくスタンドか
樹木が枯れるようにして朽ち果てていく
ち…ちくしょう…ッ
確かにブチャラティッ！時間はものすごく少ないようだッ！
待ってくださいミスタ
行くのはまだ早い

ズッボッ!!
まだ行くのは早いと………
言っているんですッ！…調べなくてはならないことが………ある…！
何妙な事言ってんだジョルノッ！
一刻を争うことなんだぜッ！
待て聞くんだ！
何か言いたいんだジョルノ？何を調べるんだ？
「老い」のスピードがぼくたちと…ブチャラティ
ぼくたちの方が早い………老いる「早さ」が違うのはなぜでしょう？

確かに言われてみれば……
オレとミスタは比較的症状はまだ軽い！
「トリッシュ」はもっとだ
なぜだ？
老ける老けないは個人差があるのさッ！
オレは行くぜッ！
いいえ……
敵は無差別に全員「老い」で殺そうと攻撃するのなら……
目的である「彼女」まで死なせてしまう危険を冒すことになるッ！
この「老いる」スピードには条件があるッ！
彼女を殺さずにぼくらだけを殺す「区別」が
条件があるから彼女の「老い」は遅くなっているのですッ！
それを調べといた方がいいと思います

「条件」……
彼女の「老い」を遅くする「条件」!?
確かに彼女にダメージが少ないから思いもしなかったが彼女だけが早く老いたら敵は困るわけだ
だがそれは…ジョルノ…おまえは何だと思うんだ?
結論から言います!
敵は「男」と「女」を区別しているのだと思いますッ!
おい!なんだそりゃあ……!!
「男」と「女」…どう区別してんだよッ!敵スタンドにパンツでもおろされて見られたか!
あ…
し…失礼しました
ボスに言わないで
『体温の変化』で
男と女を区別しているのだと思います!

さっきからちょっと暑いと思いませんか……？

敵はほんのちょっとだけ変化する体温差で「老い」のスピードを区別しているのです

男は早く「彼女」は遅ければそれでいいッ！

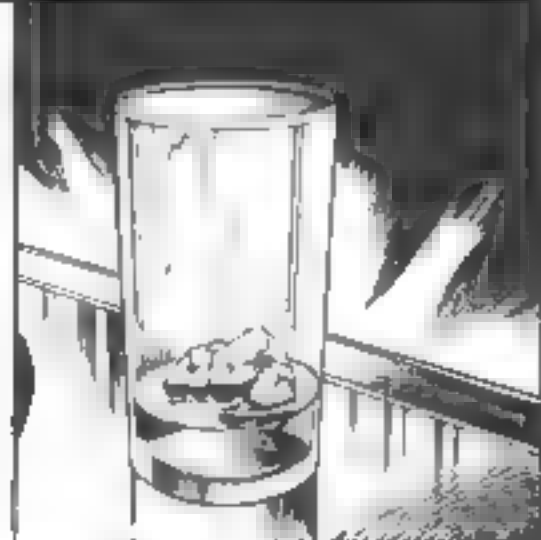
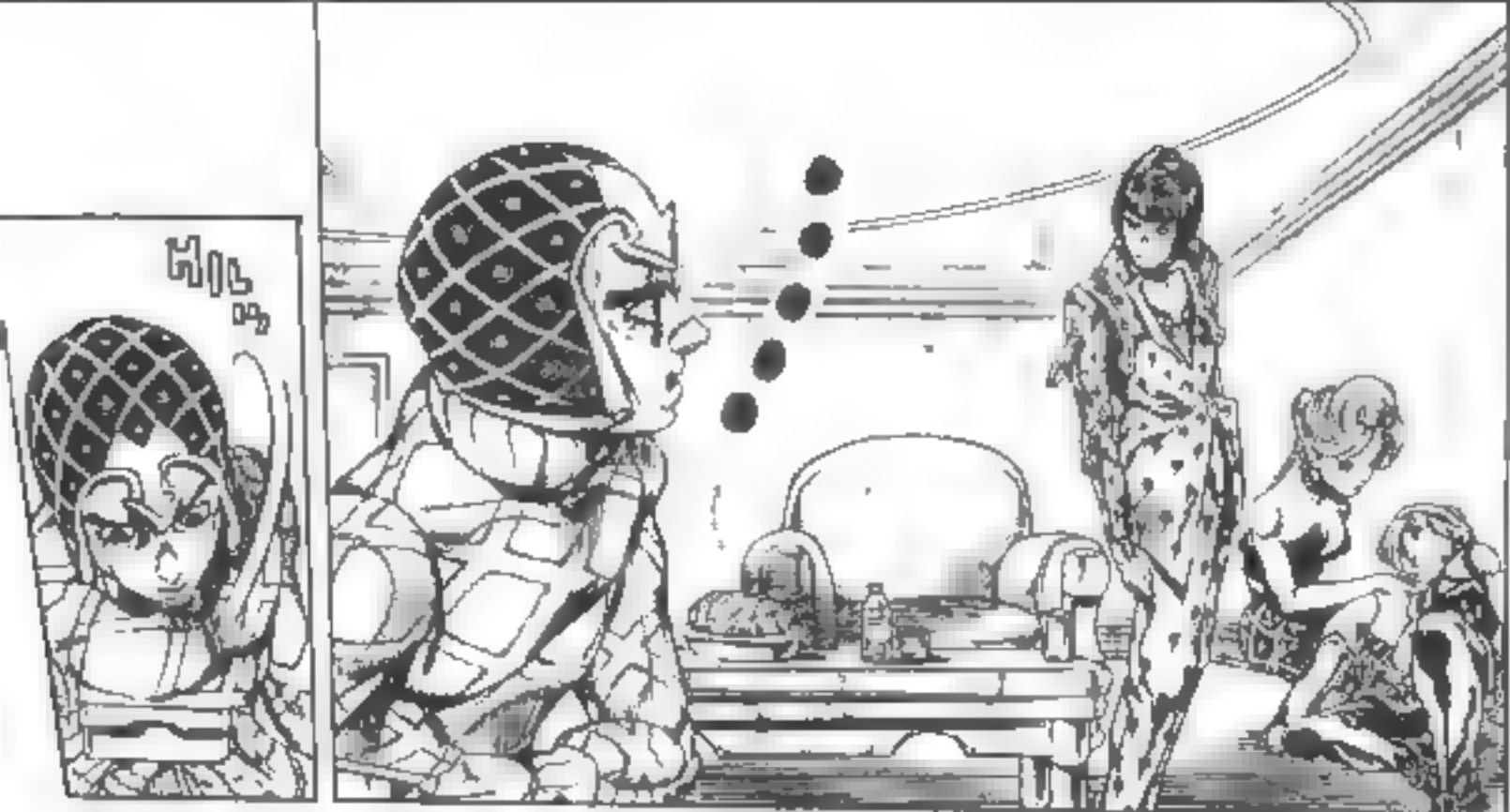
確かにもっともらしい推論だぜ　だが

オレとおまえの区別はどうつける……!?　オレが女だっていうのか？

『体温の変化』

そういえばわたしたちは体がちょっぴり冷えていた

今まで冷たい飲み物を飲んでいたから……

彼（ナランチャ）は飲んでいなかった

こ……
これはッ！
ナランチャの
皮膚の冷され
てるところが
以前のように
若く戻るぞ…
ジョルノ おまえの
言うとおりだ
オレたちは冷やして
いたから「老い」の
スピードが
遅くなっていたんだ
体を冷やすんだッ！
みんなの体を氷で
冷やすんだッ！
待て ミスタ！
その氷は おまえが
持っていかなければなら
ないッ！

あ……
この「敵」を始末することには変わりはないのだ!!
その氷は老いの進行をおさえるようだが
これから全員分の氷を冷蔵庫で作るには時間が持たないッ!
こ…これだけか…
ミスタおまえがその氷を持って敵を倒しに行くんだッ!
氷が溶けて……

『スタンドパワー』と『体力』がなくなる前にッ！

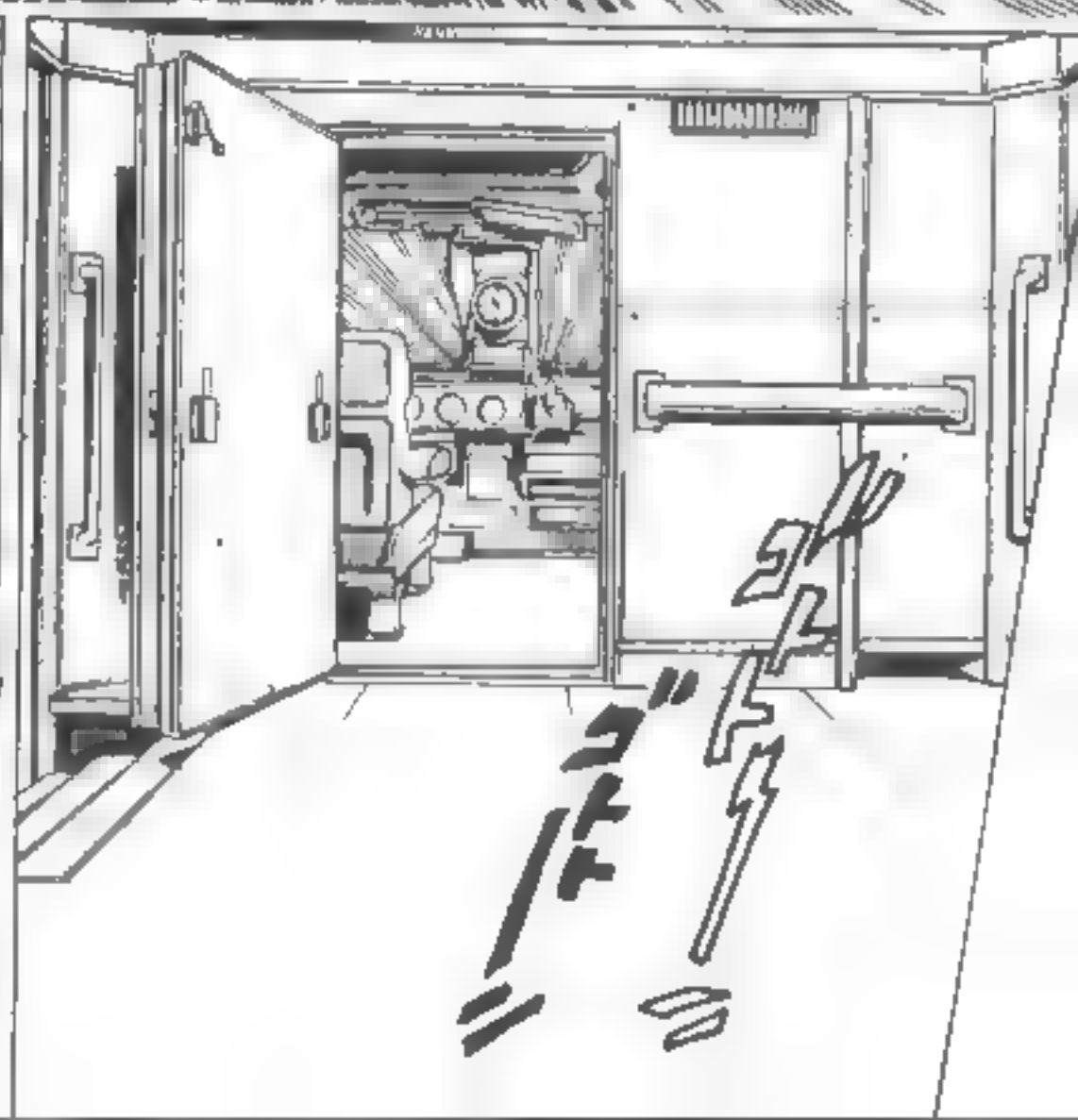
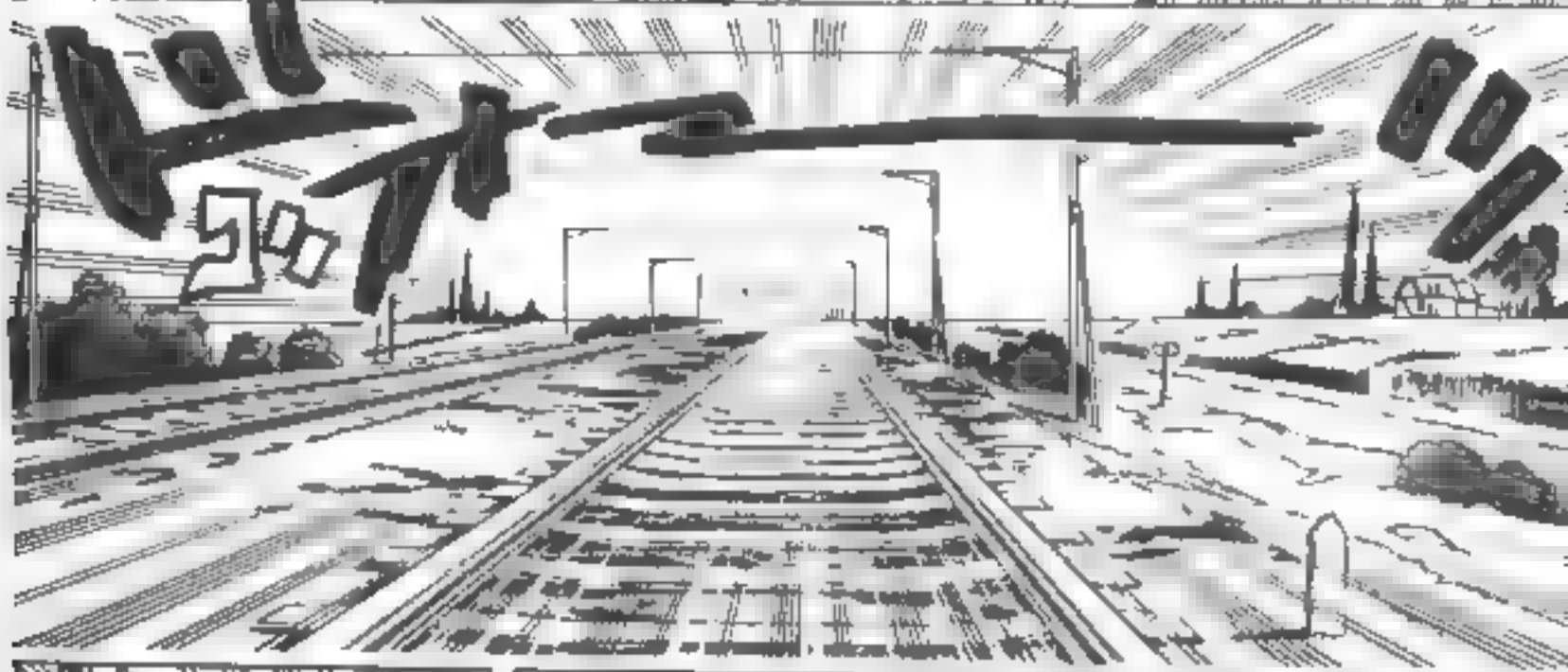
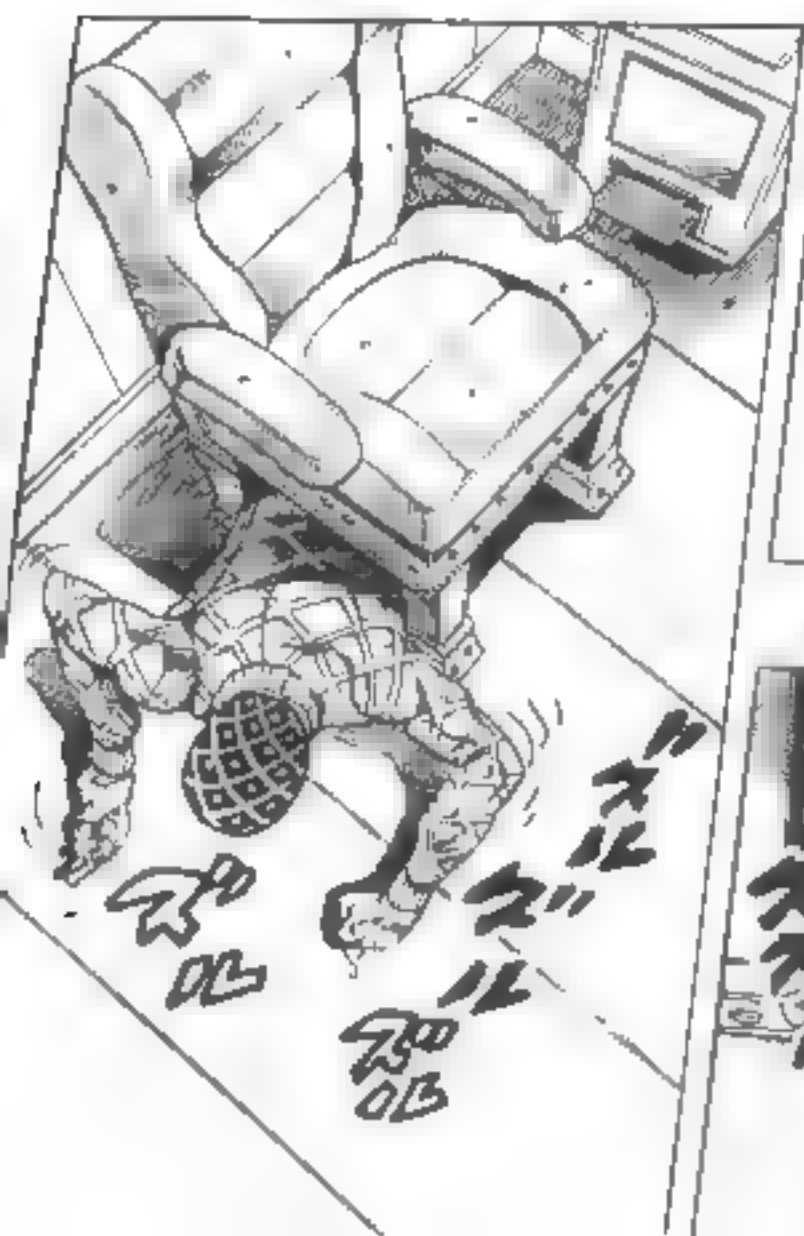
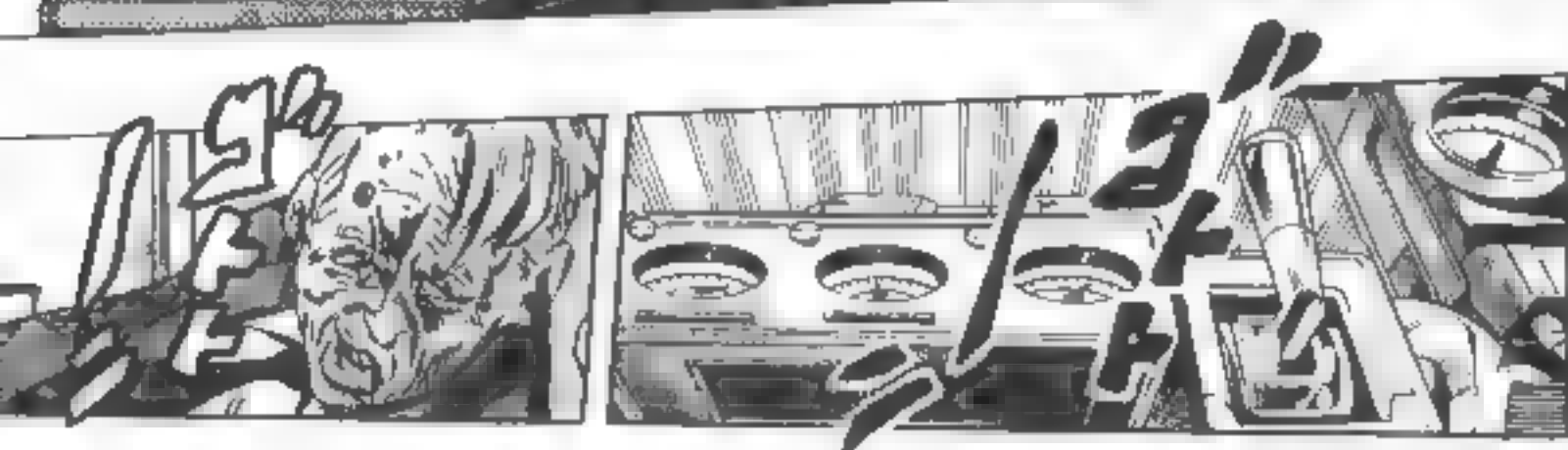
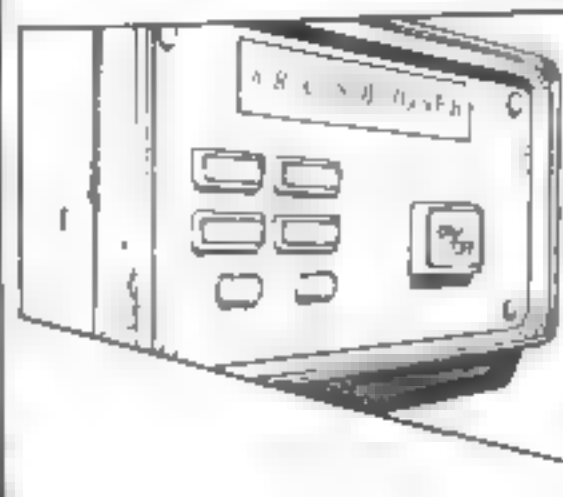
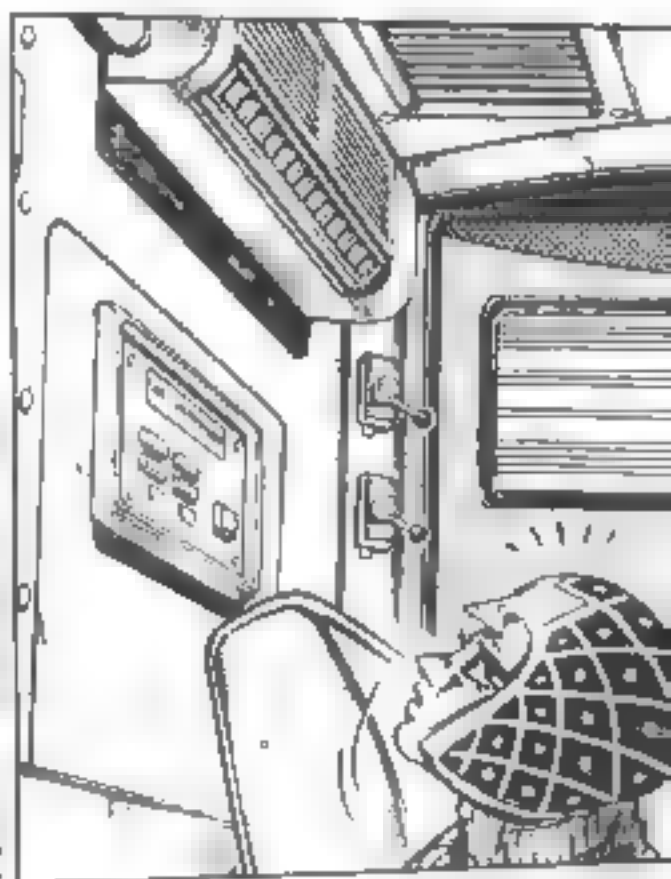
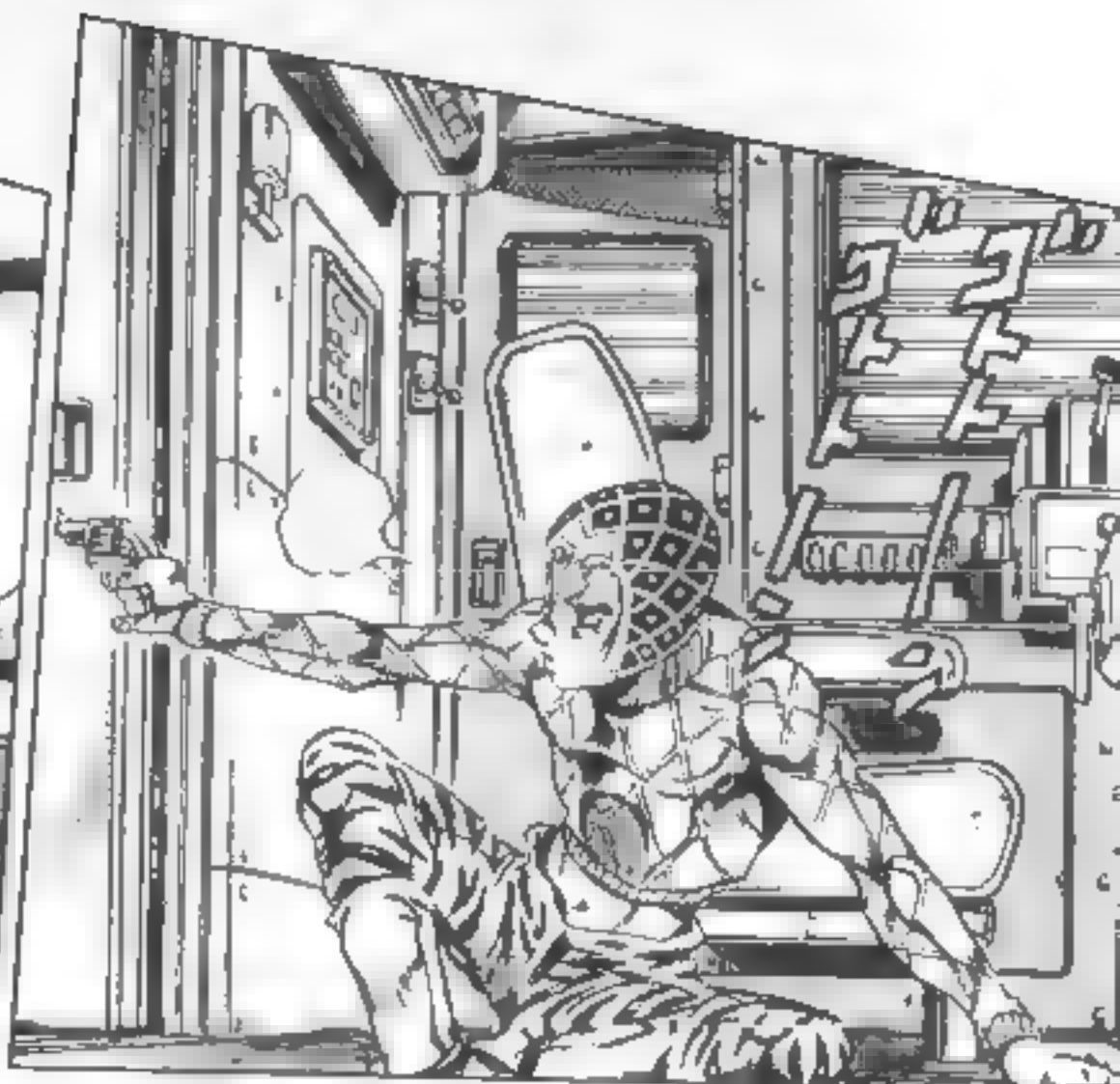
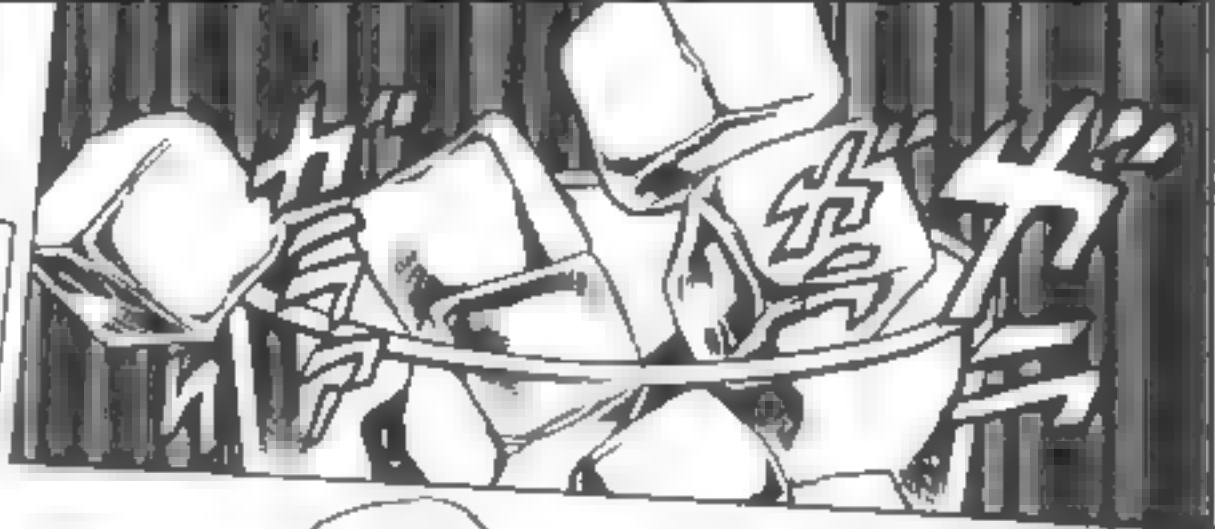
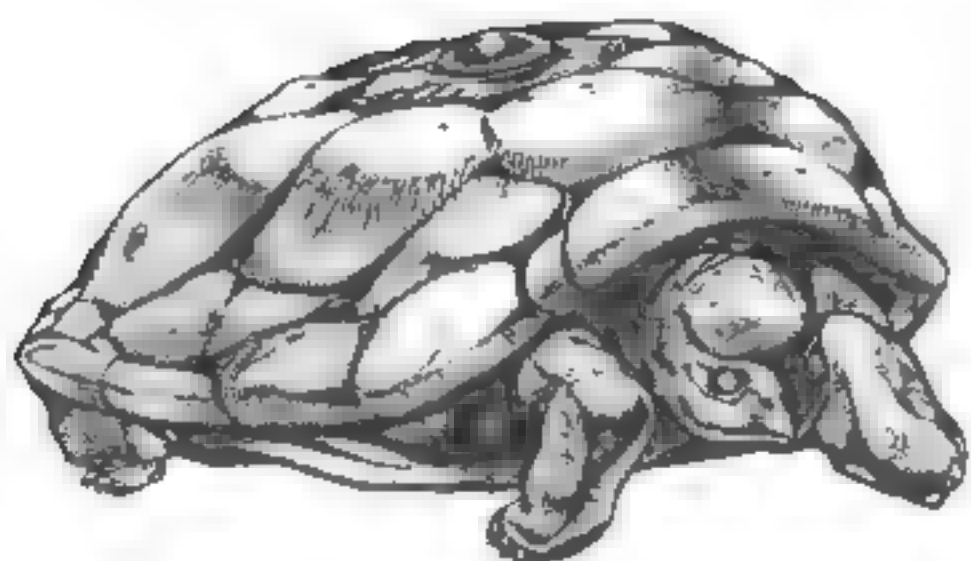
運転手か
他には誰もいないな
ムン 暑い…
やはり無差別に攻撃しているぜ
この「スタンド」

この亀も年とっているのかな……？

でも亀は万年生きるっていうからなオレたちよりも長生きか

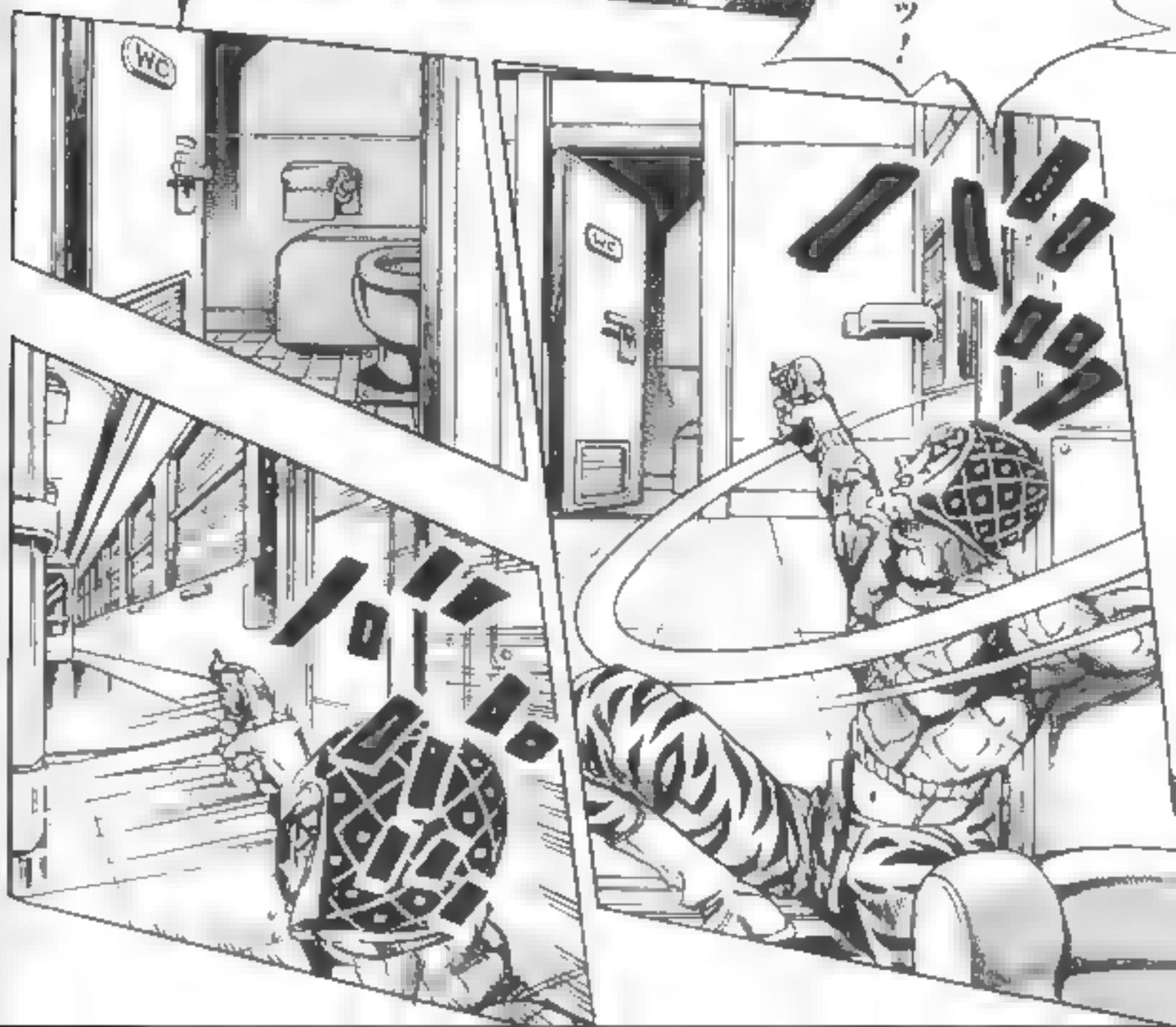
BAR
ガリガリガリガリ
まったく もう兄貴ったらよォ――
あぶねーことするよなあー
オレまで「年」とっちまったらどうしてくれんだよなまったく
食堂車
チリ
BEACH BOY

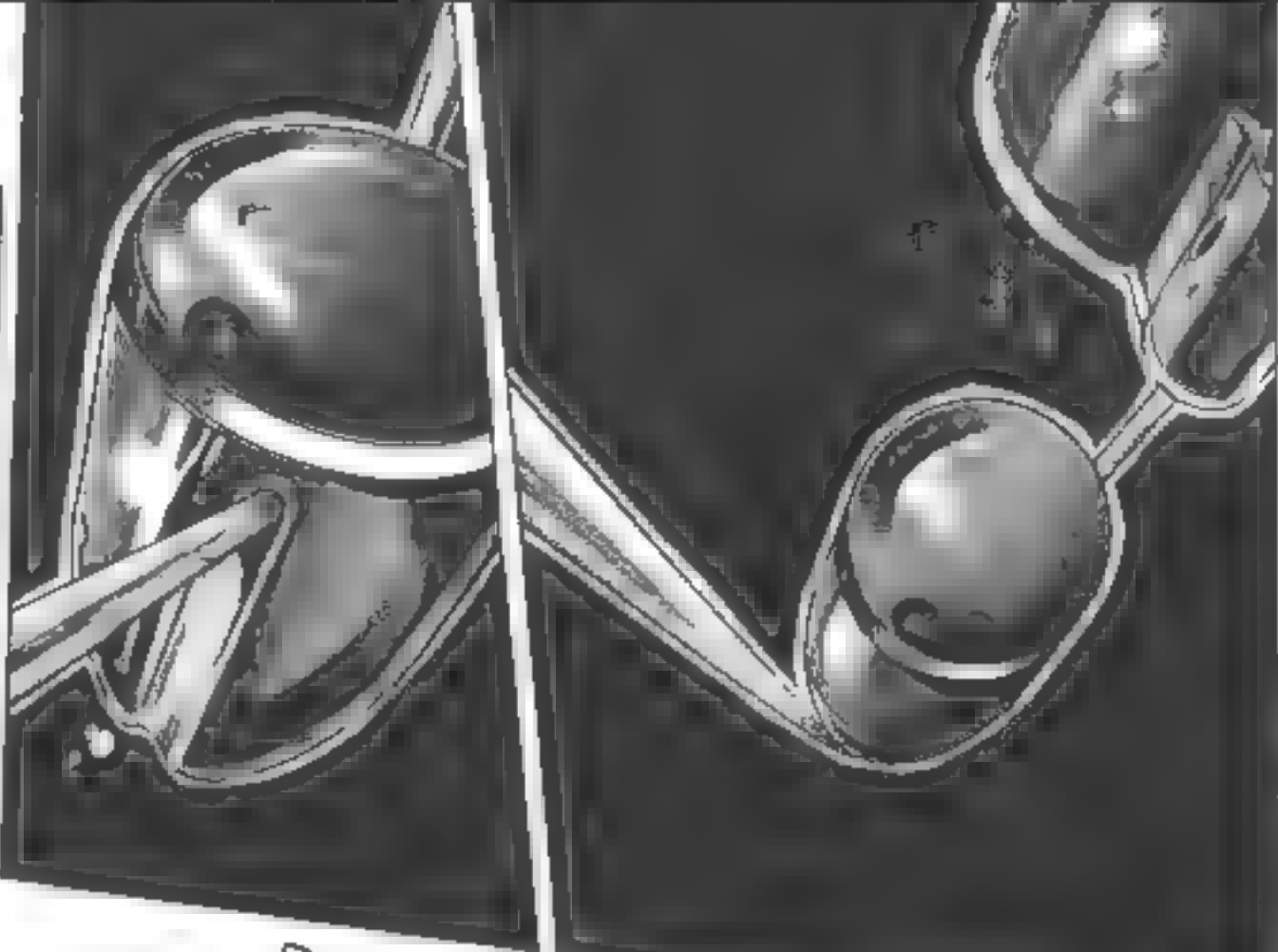
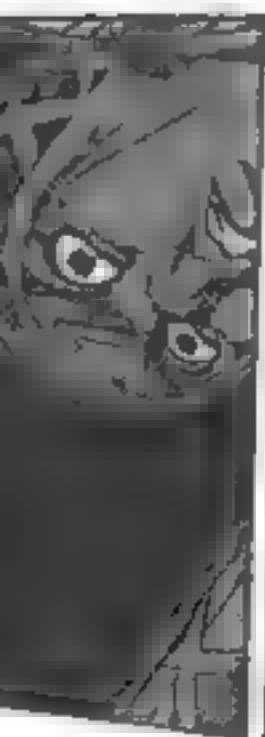
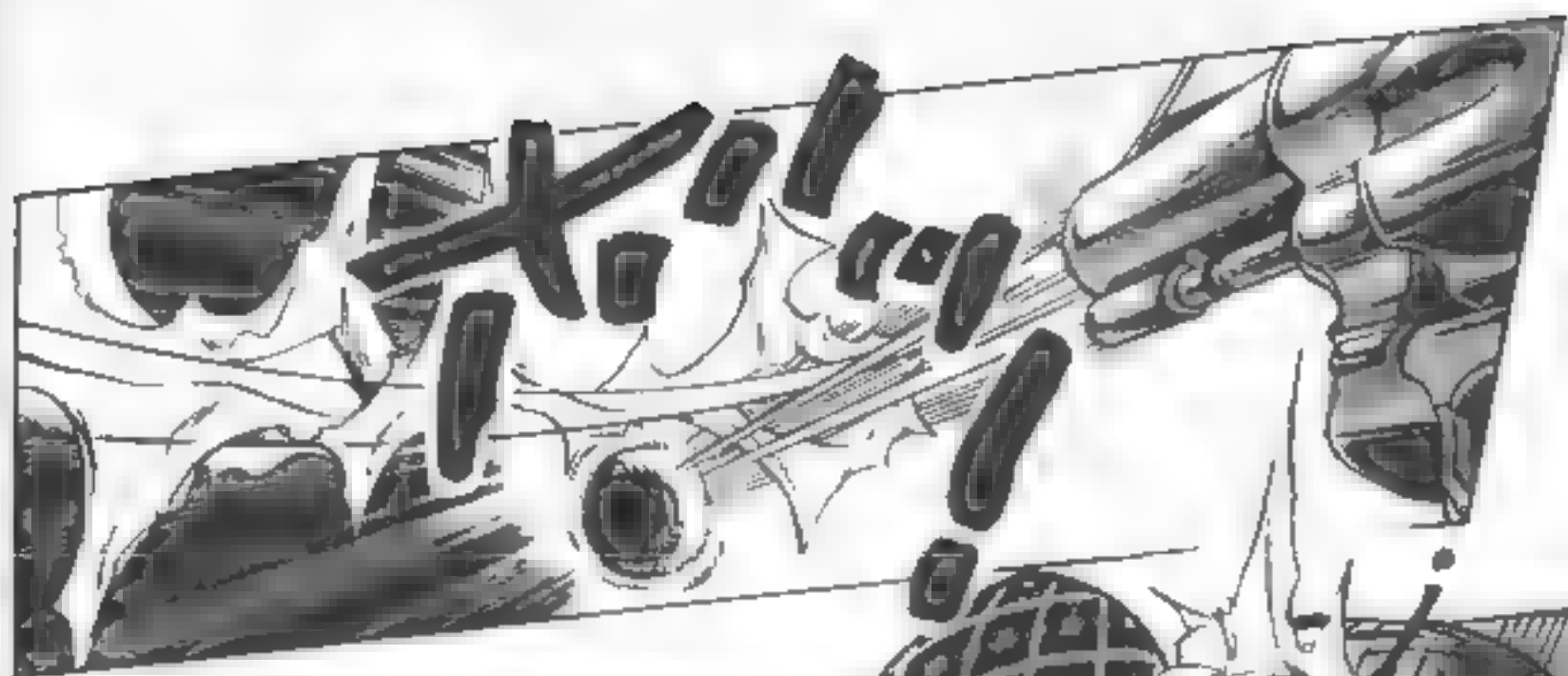
きたッ！
くらいついたぜッ！餌にィーーッ

うげッ!!
!!
なっ!!?
なんだ!? こいつは!?
この針みたいなものは!?
む…「老い」させるヤツとは……
ち 違う「スタンド」!?
もうひとりいるのか!?
敵は2人か!?

兄貴ィ！
どこ行った!?
いねーのかよォオッ！
ボリボリ
兄貴ィッ！
ギオ
ギオ
ギギギ
兄貴の言うとおりだったッ！
ブチャラティともは
この列車に乗っていたゼーッ
ザ・グレイトフル・デッド
偉大なる死
その③

エアコンのスイッチの罠にかかりやがった！2両前の運転室にいるッ！
この状況で運転室のエアコン冷房の
スイッチを「ON」に押そうとするのはヤツらしかいねえからな！

でも「針」
「トリッシュ」で
ないことは確かだ
このひっぱる力は「男の力」だ
釣り上げて
やるぜ!!
針が食い込んでいるのは左手
体重は
こいつが誰か
すぐにわかるーっ

ON/OFF
なっ なんだ この「針」のようなものはッ！
食い込んで来やがったッ！スイッチを押そうとしたらッ！

近くには「本体」はいないようだ しかし だからといって そう遠い車両にいるとも思えない…！
この「●」のことはバレてはいないようだが だが やばいぞッ！
やばいぞッ！ちくしょう！！
ゴゴゴゴ
敵は2人乗っていやがったッ！
……………
おいまさか… こ…この食い込んだ「針」か…
さっきより深く入って来ているぞ
手前のところまで…

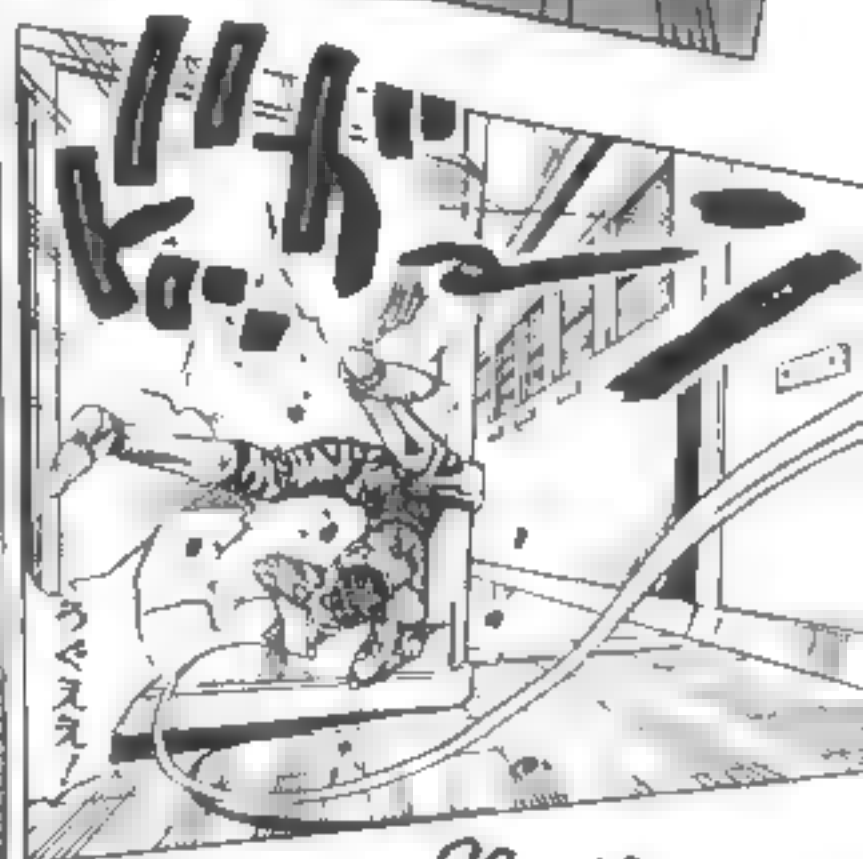
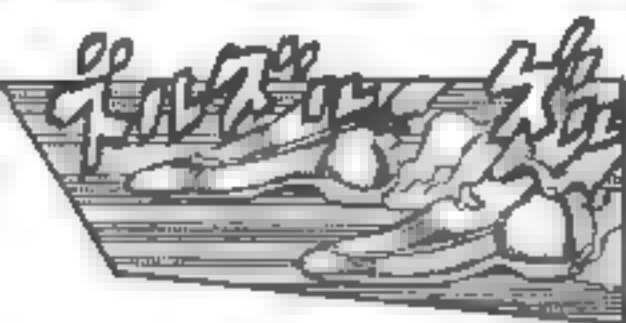
うおおあ！
は…早いッ！
スゴイ早さで腕を登ってくるッ！
ON
OFF

おお！こいつ「ミスタ」だッ！
糸を切ろうとしたのは「弾丸」だ！「拳銃使い」はグイード・ミスタだ！
そして「糸」を撃ったってことはよォ
オレの「ビーチ・ボーイ」の「糸」はよお 獲物以外の物体は水と同じように通過できる！切断はできねえ
…とはいえよう「衝撃」は「糸」を伝わるんだ！「糸」はおまえの左腕に深～く食い込んでいるんだぜ…
おまえの神経にスデニねっとりからみついてるんだぜ！
つーことは！撃った「衝撃」はどこへ伝わんのかな!?

あぐッ
こ…
この糸は……
うぐ
あぁッ

仲間はどこにいるのか
知らねーけどよォ
ミスタ！ こいつひとりだ！
動く気配はひとり
釣り上げてやるぜーッ
ギャン
う…うおおお
うっうおお
ズッ
やばい！
この「糸」を
抜かないとやばいッ！

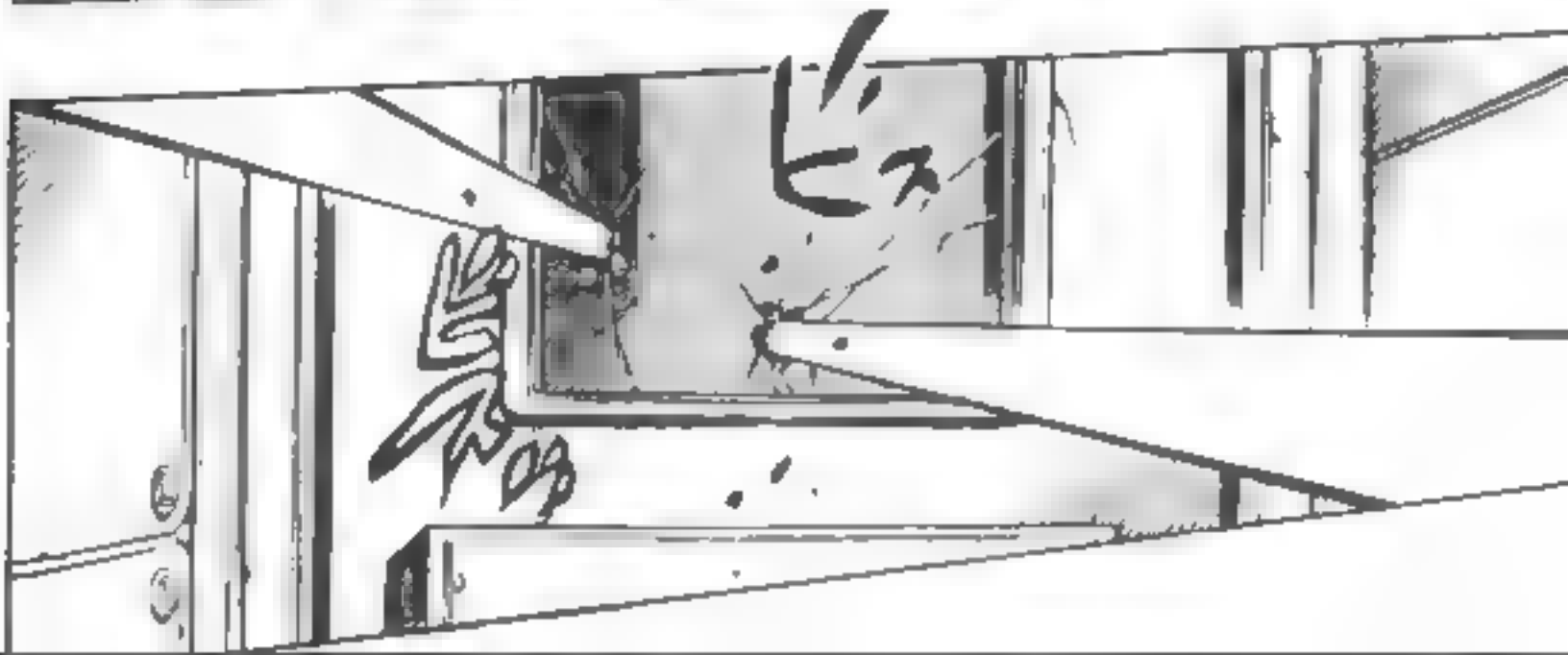
ち…
ちくしょうッ!
抜かねえと
この「針」
……!!
脳ミソまで
登って
来ちまうぜ
!!いや
ノドまでで
十分か!
うぐええ!
ど…どんどん
腕を
登ってくるッ!
せ…せめたッ!
抜けねえッ!
うおッ!
ももっと
早くなったッ!

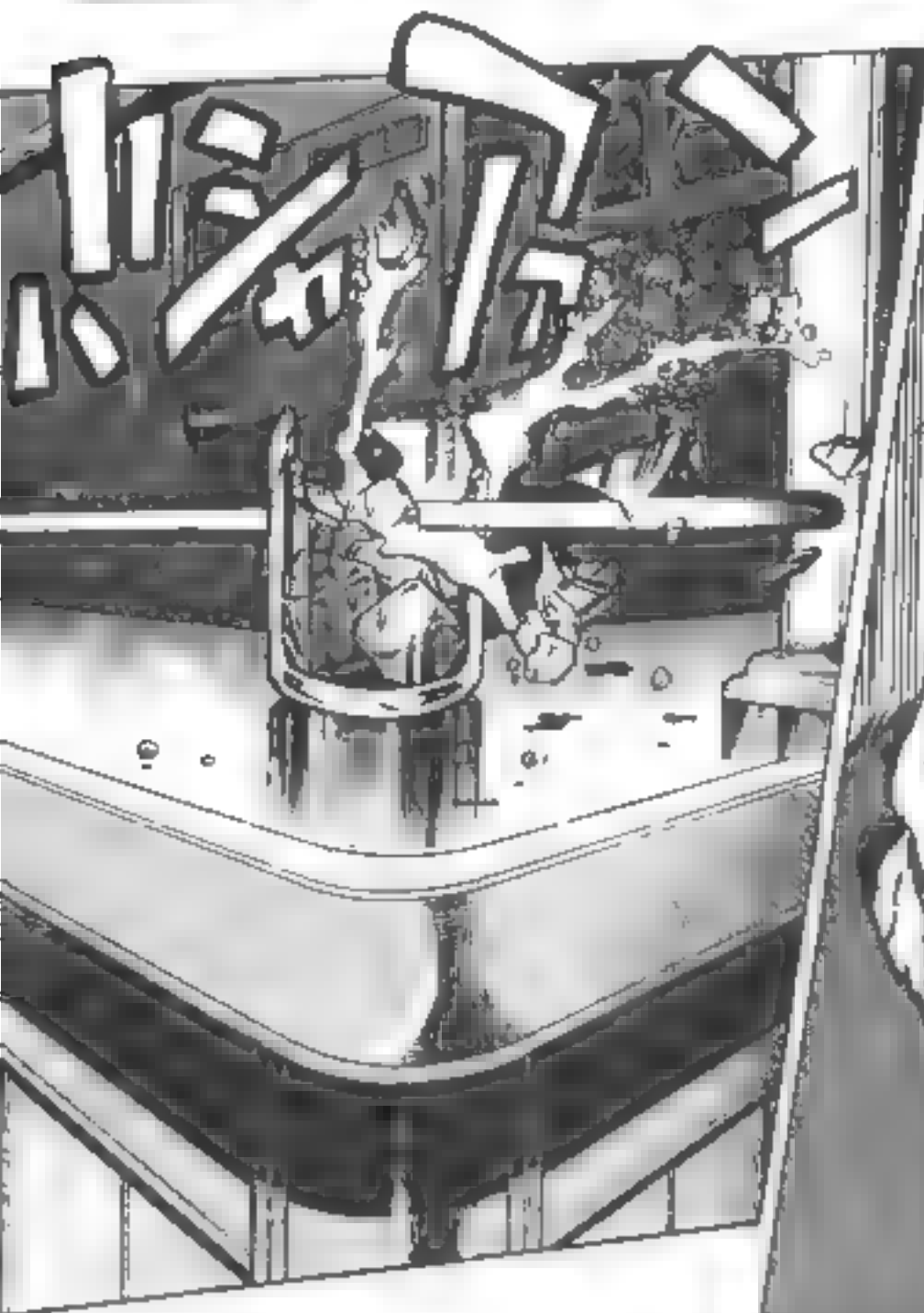
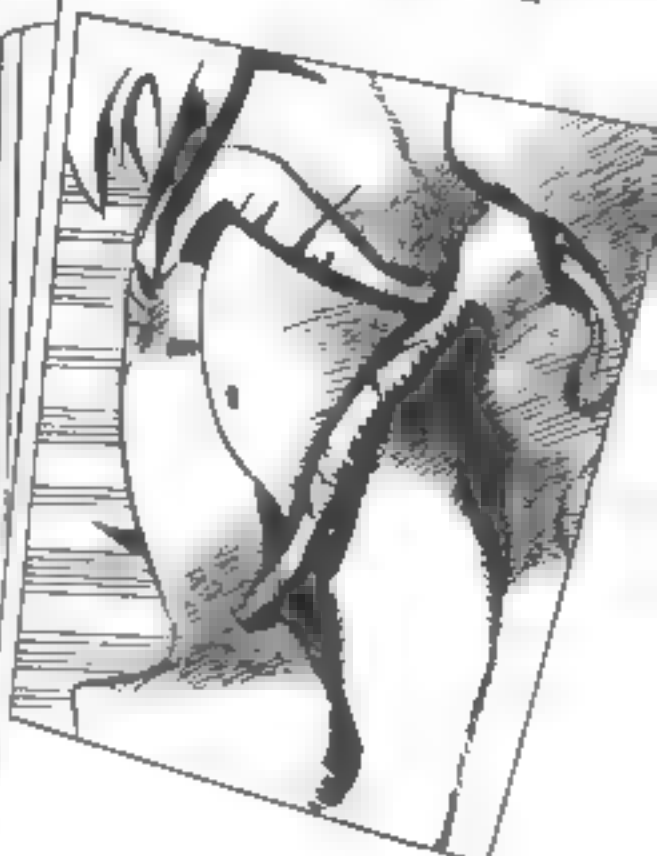
や…野郎…

アギャノ
ウギャア
「セックス・ピストルズ」この針をおさえて止めろオオ!!
ギノ

ダッ
ダメダーッ
引キズラレルゥ――ッ
止メラレネェーッ
オレタチノ「パワー」ジャアー
止メラレネェ――ッ
ミスタッ！
のどマァ
行ッチマウゥ――ッ
ち……
ちくしょう……
探すしかねえ……!!

探すしかねえぞッ！
No.6 No.7
用意はいいかッ！
ドドドド
ドバババ
ビスッ

ギャアーーッス！
ギャーン
探セ！
デモ見ツケラレルカナ⁉
ゼッァー見ツケルンダ‼探セ！
ギャーン
探セ！
探スンダッ！
ギャーン

CLUB BAR
なんだ前の車両からの音は!?
今のはミスタの拳銃か!?
誰を狙って発砲したんだよ
やけにでもなったか!?
他の乗客にでも当たっちまったらどうすんだよ…
それともまさかこのオレを探すために撃ったのか!?

ミスタ…
オレはオメーの顔を
写真が穴のあくほど
ながめたが…
オメーは
オレの顔は
知らねえ………
このオレを
この列車で
オメーが見つけるのは
不可能だな…
乗客だって
老化のスピードが
ひとりひとり違うから
まだ若そうなのも
いる…
しかも
オメーは
ここにさえ
来ることは
できねえんだ
今「針」は
おまえの耳深く
到達する
ところだぜーッ
バシャァ

……
うえええーん……
モット下狙ワナイト氷ヒガチャント上吹ッ飛バナイヨ!!
チョイ下ダッ! モット下ヲ狙エッ!!
コッチだッ! コッチッ!
「氷」見ツケタカラヨッ!! 野郎どもッ! ブッ壊セエーッ
ソノママ突ッ込ンデ来ィイ——ッ!!

うわあああ
あああああ
ああああ
なっなにを
しやがるんだアア
アアア――――ッ

52フィレンツェ行き超特急の巻（完）

■ジャンプ・コミックス
ジョジョの奇妙な冒険
52 フィレンツェ行き超特急の巻

1997年4月9日　第1刷発行
2000年6月19日　第15刷発行

著者　荒木飛呂彦
©LUCKY LAND COMMUNICATIONS 1997
編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651
発行人　山下秀樹
発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
03(3230)6233(編集)
電話　東京　03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)
Printed in Japan
印刷所　株式会社　美松堂
中央精版印刷株式会社
乱丁、落丁本が万一ございましたら、小社制作部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。
本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。
ISBN4-08-872039-3 C9979